

幼児教育学科教育課程

(令和8年度入学生に適用)

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数				資格取得に 必要な単位数			備考		
			必修	選択 (注1)		1 学 年		2 学 年		幼 免	保 育 士	社 会 福 祉 主 事 任 用			
						前 期 必 選	後 期 必 選	前 期 必 選	後 期 必 選						
教 養 科 目	日 本 国 憲 法	講	2		(彼 谷)				2			2	2		
	国 際 理 解	講		2	山 田							2	1	1	A
	現 代 社 会 と 人 間 I	講		1	担当教員	1									B
	現 代 社 会 と 人 間 II	講		1	担当教員	1									
	国 語 表 現	講	2		(奥 野)		2					2	2		
	コミュニケーションと情報	講	2		吉 牟 田	2						2	2		
	人 間 と 情 報	講	2		春 名	2									
	英 語 I	演	1		山 田 (ディヴィッド・ホーズリー)		2					1	1		
	英 語 II	演	1		山 田 (シェリー・スキヤンラン)				2			1	1		
	キャンパス&ホームステイプログラム	演		2	山 田										
	運 動 と 健 康	講	1		塩 見	1						2	1		
	健 康 ス ポ ー ツ	実技	1		塩 見	2							1		
基 礎 演 習	演習	1		四杉(専任教員全員)	2										
計			13	6		9	2	4	0	4	0	0	2	11	11
専 門 科 目	保育の本質・目的に関する科目	保 育 原 理	講	2		石 動	2					2	2	2	
		教 育 原 理	講	2		四 杉	2					2	2	2	
		子 ども 家 庭 福 祉	講	2		明 柴	2					2	2	2	
		社 会 福 祉	講	2		宮 田 徹		2				2	2	2	
		保 育 者 論	講	2		明 柴				2		2	2		
		子 ども 家 庭 支 援 論	講		2	石 動					2		2		
		社 会 的 養 護 I	講	2		明 柴		2				2	2		
	保育の対象の理解に関する科目	子 ども と 社 会	講	1		四 杉					1	1	1		
		保 育 の 心 理 学	講	2		嶋 野	2					2	2		
		子 ども 家 庭 支 援 の 心 理 学	講	2		嶋 野		2					2		
		子 ども の 保 健	講	2		松 居	2					2	2		
		子 ども の 健 康 と 安 全	演		1	松 居			2				1		
		教 育 相 談	演		1	嶋 野					2	1	1		
		子 ども の 食 と 栄 養 I	演	1		(城 岡)	2					1	1		
	保育の内容・方法に関する科目	子 ども の 食 と 栄 養 II	演		1	(城 岡)			2			1	1		
		子 ども の 理 解 と 援 助	演		1	嶋 野				2		1	1		
		教 育 課 程 論	講	2		石 動		2				2	2		
		保 育 内 容 総 論	演		1	日 光			2			1	1		
		子 ども と 健 康	演	1		塩 見				2		1	1		
		保 育 内 容 (健 康) 指 導 法	演		1	塩 見					2	1	1		
		子 ども と 人 間 関 係	演	1		石 動				2		1	1		
		子 ども と 環 境	演	1		(谷 内 口)					2	1	1		
		子 ども と 言 葉	演	1		日 光		2				1	1		
		保 育 内 容 (言 葉) 指 導 法	演		1	日 光				2		1	1		
		子 ども と 音 楽 表 現	演	1		難 波		2				1	1		
		保 育 内 容 (音 楽 表 現) 指 導 法	演		1	難 波				2		1	1		
		子 ども と 造 形 表 現	演	1		中 山		2				1	1		
保 育 内 容 (造 形 表 現) 指 導 法	演		1	中 山				2		1	1				
子 ども と 遊 び	演	1		中 山・石 動・日 光 難 波・塩 見					2	1	1				
子 育 て 支 援	演		1	明 柴						1	1				
乳 児 保 育 I	講		2	石 動・日 光	2						2				
乳 児 保 育 II	演		1	石 動			2				1				
特 別 支 援 論 I	演	1		明 柴・(金)		2				1	1				
特 別 支 援 論 II	演	1		嶋 野・(北 川)				2		1	1				
社 会 的 養 護 II	演		1	明 柴				2			1				
教 育 方 法 論	講		2	四 杉						2	2	2			

区分	授業科目	講義 演習 実習 の別	単位数		担当教員名 ()内は 非常勤講師	毎週授業時間数								資格取得に 必要な単位数			備考				
			必修	選択 (注1)		1 学 年				2 学 年				幼 免	保 育 士	主 事 任 用 社 会 福 祉					
						前期		後期		前期		後期									
						必 選	選	必 選	選	必 選	選	必 選	選								
専 門 科 目	保育 の 表 現 技 術	音楽表現技術Ⅰ	演	1		難波(玉井・ 櫻井・平野)	2								1	1					
		音楽表現技術Ⅱ	演	1		難波(玉井・ 櫻井・平野)			2						1	1					
		音楽表現特講	演		1	(玉井・櫻井)							2								
		造形表現技術Ⅰ	演	1		中山	2								1	1					
		造形表現技術Ⅱ	演	1		中山						2			1	1					
		子どもの運動	演	1		塩見			2						1	1					
	保 育 実 習	教育実習Ⅰ	実		2	難波・石動・ 嶋野・四杉		5	※						2			※	学内幼稚園実習		
		教育実習Ⅱ	実		2	嶋野・山田					※				2			※	学外幼稚園実習		
		教育実習指導	実		1	専任教員全員					1	1	1						「教育実習Ⅰ・Ⅱ」終了後に認定		
		保育実習Ⅰ-1	実		2	日光・中山				※						2			※	保育所実習	
		保育実習Ⅰ-2	実		2	明柴・塩見				※						2			※	施設実習	
		保育実習指導Ⅰ	演		2	専任教員全員		2	2							2			「保育実習Ⅰ」終了後に認定		
		保育実習Ⅱ	実		2	中山・日光					※					2			D	※	保育所実習 「保育実習Ⅱ」終了後に認定
		保育実習指導Ⅱ	演		1	中山・日光					2	※				1					
		保育実習Ⅲ	実		2	塩見・明柴					※					2				D	※
保育実習指導Ⅲ		演		1	塩見・明柴					2	※				1						
総合演習	保育・教職実践演習	演		2	明柴・嶋野 四杉・日光							2	2	2							
総合演習	総合演習	演		2	専任教員全員					2	2	2	2					通年			
計				36	40		16	9	20	10	6	17	9	16	53	70	8				
総計				49	46		25	11	24	10	10	17	9	18	64	81	8				

〔注〕1. 上記教養科目のA、B 2科目の中から1科目以上(計1科目1単位以上)を選択するものとする。

〔注〕2. 保育士資格取得希望者はD・D' いずれか1科目を履修すること。

〔注〕3. 「保育士資格取得に必要な単位数」欄に単位数が記入されている授業科目については、学則第12条の6(外国の短期大学における授業科目の履修等)の規定は適用しない。

なお、学則第12条の3(他の短期大学又は大学における授業科目の履修等)、第12条の4(短期大学又は大学以外の教育施設等における授業科目の履修等)、第12条の5(入学前の既修得単位の認定)及び第21条(転学)の規定については、「指定保育士養成施設指定基準」(平成15年12月9日雇児発第1209001号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知)に定める範囲内において通用することがある。

授業科目名	保育原理			科目コード	C111-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	保育者論 子どもと社会						
関連科目	教育原理 教育課程論 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	保育の特性や保育内容・方法に関する知識を学びながら、保育の基本的考え方を理解する。また、保育思想や歴史、諸外国での保育について学ぶとともに、日本の保育の現状を見つめ、現代の課題とその解決について考える。課題シートやグループ討議等を通して学び、自らの子ども観や保育観の形成につなげていくことをめざす。								
学習目標	保育の意義及び保育の基本理念について理解する。 保育の内容と方法の基本構造を学び、実際の保育場面を通して理解する。 保育の思想や歴史の変遷を学び、現代の保育について考察する。								
キーワード	子ども観と保育観、養護と教育、子どもの最善の利益								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『実践を創造する保育原理 第3版』豊田和子編（みらい） 参考図書：『保育所保育指針解説書』厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』文部科学省編（フレーベル								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育の基本的な事項や制度に関する用語等を理解し、筆記試験で回答することができる。保育の意義を理解し、説明することができる。保育の歴史や思想に関する知識を、現在の保育理論と関連づけて理解することができる。								
LO-2	【技能】 保育事例を、保育の基本的視点に沿って読み取ることができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 保育の基本理念を通して、自らの子ども観・保育観について、考えを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育の現状に関心をもち、社会のニーズをふまえた保育のあり方・課題について、自ら考えようとする。								
LO-5	【人間性・社会性】 他者の意見（子ども観・保育観等）を受容し、自らの意見に反映しようとする。自らの保育観や子ども観を、他者に表明することができる。								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	55	15	20			10			100
LO-1	45	15							60
LO-2	10								10
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5						10			10
備考	その他 A は、受講態度（講義及びアクティブラーニングへの参加態度や課題シートの提出状況）とする。 アクティブラーニングの実施：グループワーク、ディスカッション等を実施する。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等の説明) スライド資料 授業計画	
	【予習】シラバスに目を通し、授業のねらいや内容を確認する。	30分
	【復習】講義内容を教科書第1章で確認する。 資料の言葉から、保育とは何かを改めて考え、課題シートに記載して提出する。	60分
第2回	保育とは何か ~ 養護と教育の具体的な意味を知る。ベアワーク 保育が養護と教育が一体的に展開されるものであることを理解する。 スライド資料	
	【予習】指定された教科書の部分を読む	50分
	【復習】保育の原理に関する「!や?の出来事」を記載し、提出する。4番へ 課題用紙	130分
第3回	子ども観と保育観 子ども観の変遷を知る。自らの子ども観をふりかえる。 スライド資料	
	【予習】教科書の第2章を読んでおく	50分
	【復習】自らの子ども観に関する課題レポートを記載し、提出する。	130分
第4回	子ども観と保育観 子ども観と発達観、保育観の関連について理解する。 グループディスカッション	
	【予習】前回の内容を資料、教科書で振り返る。 思想家の言葉について、自ら調べておく。	60分
	【復習】授業の内容やグループディスカッション、教科書第7章を読んで、子ども観・発達観・保育観について理解した内容をまとめる。	120分
第5回	子ども観、保育観、発達観 保育観や保育実践につながる子ども観、発達観の理解	
	【予習】テキスト第7章を読んで、疑問点などを書きだす。	60分
	【復習】教科書第7章の内容を保育の目標と関連付けて理解する。 授業で提示された発達観を整理して、まとめる。	120分
第6回	保育のめざす姿とは 保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育・保育要領のねらいを理解する。	
	【予習】保育所保育指針第1章総則、幼稚園教育要領第1章幼稚園教育の基本を読む。	50分
	【復習】指針や要領の語句に関する課題シートを完成する。 指針や要領等書かれている内容と保育のめざす姿との関連を再確認しておく。	130分
第7回	保育の目指す姿 保育の内容と方法 保育所保育指針・幼稚園教育要領の構造を理解する。保育の内容と方法について知る。	
	【予習】指針や要領、教育・保育要領を読み、目標や目的及び10の姿を関連付けて理解できるよう、自らノートなどに整理する。	60分
	【復習】次回小テストの準備をする。 小テストの内容：配付した課題シート(穴埋め式)の内容+領域について、3つの資質・能力	120分
第8回	小テストの実施 小テストの内容は予習欄に記載 保育の内容 保育の内容を構造的に理解する。	
	【予習】指針・要領の重要語句を再確認しておく。 小テストの準備を行う。	60分
	【復習】小テストの内容を再確認する。 重要な点及び理解が不十分な点について、再度見直す。	120分
第9回	保育における場を理解する 保育所、幼稚園、認定こども園の特徴	
	【予習】教科書第3章を読んで、疑問や質問を書きだす。	60分
	【復習】課題プリントを完成する。 参考：富山県のホームページ、各市町村のホームページ	120分
第10回	小テストの実施 新しい保育制度について	
	【予習】教科書の指定部分を読む。ホームページで自ら調べる	60分
	【復習】新しい保育制度について一覧表にまとめる	120分

第11回	保育内容を考える 保育事例をもとに、実際の保育場面ではどのような対応が必要かを考える。グループディスカッション また、それはどのような原理に基づいているのかを理解する。	
	【予習】小テストの準備をする（課題シートの確認）	60分
	【復習】課題の確認 小テストの準備 保育内容事例のポイントをまとめる。	120分
第12回	小テストの実施 保育の歴史と思想 世界及び日本における保育の歴史と思想	
	【予習】テキスト第5、6章を読む 小テストの準備	60分
	【復習】講義内容をまとめる。主要な人物とその背景を整理する。 教科書3、4章を読んで理解する。 小テストの内容を再確認する。	120分
第13回	保育の歴史と思想 倉橋惣三の保育論を中心に、保育者像を考える	
	【予習】第6章を読んでおく 第14章 p 194～を読む。配付資料を読んでおく。	60分
	【復習】資料を読んで、各思想家や保育実践家の特徴をまとめる。 次回 第14回は、これまでの課題シートを中心としたプリントを左上を閉じて（外れないように）提出してください	120分
第14回	ミニテストの実施（5分） 保育の思想（まとめ）、諸外国における保育の取り組み 諸外国の保育制度について学び、日本における保育制度の課題を探る。	
	【予習】ミニテストの準備をする 配付資料を読む	60分
	【復習】課題シートを完成し、提出する	120分
第15回	現在の保育における課題 基本知識の確認	
	【予習】テキスト第14章『保育をめぐるこれからの課題について』を読む。	60分
	【復習】定期試験の準備をする。	210分

授業科目名	教育原理			科目コード	C111-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 教育・保育	担当教員名	四杉 昭康						
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	子どもと社会						
関連科目	保育原理 子ども家庭福祉 社会福祉								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	本講義では、現代の教育および教師（保育者）の役割や課題を理解し、明確な根拠（教育の基礎理論）を踏まえて議論できるようにすることを目指す。そのために、教育の基礎的な理論・歴史・思想の概説、今日の教育（幼児教育を含む）の論点に関するディスカッション、多様な文献についての意見交流、の3つを軸とした講義をおこなう。								
学習目標	1.教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を理解する。 2.小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を理解する。 3.他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
キーワード	子ども観、教育観、発達観、教育史、教育思想、教育方法、教育内容、教育課程、教育制度、教育行政、生涯学習、特別支援教育								
テキスト・ 参考書等	『最新 保育士養成講座』総括編纂委員会編（2019）『教育原理（最新 保育士養成講座 第2巻）』全国社会福祉協議会。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	教育（幼児教育を含む）の基礎理論・歴史・思想を獲得し、理解する。								
LO-2	該当しない								
LO-3	小学校以降の教育との連携・協働するために必要な基礎知識を獲得し、理解する。								
LO-4	他者と議論し、自身の教育観を捉え直すことができる。								
LO-5	該当しない								
評価方法 / LO（学修成果）	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		30	60			10			100
LO-1		15							15
LO-2									
LO-3		15							15
LO-4			60			10			70
LO-5									
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・その他Aはミニツッペーパーによる。 ・学習過程を振り返りながら講義・ディスカッションに参加できるように、ポートフォリオ（2穴リング式A4ファイル）を準備し、そこに講義で配布する資料、ミニツッペーパー、小レポート等を収めること。 ・レポート等はコメントの上返却する。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 講義の内容、方法、評価を概説する。自身の教育体験・教育観を捉え直す必要性を実感してもらう。	
	【予習】【予習】シラバスや教科書を眺め、授業内容を把握する。	45分
	【復習】【復習】自身の教育体験を踏まえて、教育とは何かについてまとめる（小レポート）。	45分
第2回	教育とは何か 教育の定義を概説し、教育の意義を理解する。	
	【予習】【予習】第1章を通読のこと。	90分
	【復習】【復習】講義の感想をまとめておくこと。	90分
第3回	教育と家庭福祉 子どもの福祉の基礎となる児童の権利条約、日本国憲法、児童福祉法などを概説し、その理念を理解する。また家庭福祉についても取り上げる。	
	【予習】【予習】第2章を通読のこと。	90分
	【復習】【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第4回	諸外国の教育思想と歴史 現在の教育を捉え直すために、過去の諸外国の教育理論・思想および子ども観の変遷について概説し、今後の教育観・子ども観の展望への理解を深める。	
	【予習】【予習】第3章を通読のこと。	90分
	【復習】【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第5回	日本教育思想と歴史及び現代の教育制度 日本における教育思想の歴史と現代の教育を取り巻く教育制度および教育法規等を概説する。特に公教育の原則や教育委員会制度、コミュニティスクールなどを理解する。	
	【予習】第4章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第6回	教育の実践と展開 教育実践の展開を捉える目標・評価・方法という3つの視点について概説し、それらの視点から就学前教育の実践の特徴について理解する。	
	【予習】第5章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第7回	諸外国の教育 諸外国の教育制度と教育運動を概説し、それらが日本に与えた影響を理解する。	
	【予習】第6章を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第8回	生涯学習社会における教育の課題 生涯学習について概説し、ライフコースにおける乳幼児期の重要性和、保育者として生涯にわたって学び続ける意義について理解する。	
	【予習】第7章を通読のこと	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと	90分
第9回	接続期の教育 小1プロブレム等の接続期の課題やその背景に基づき、幼稚園教育や保育所保育と小学校教育の円滑な接続の重要性を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】講義の感想をまとめておくこと	90分
第10回	近代における諸外国の就学前教育における様々な実践について理解を深め、日本の就学前教育への影響等を考える。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションを通して、就学前教育について理解を深める。	90分

第11回	ユニバーサル社会とインクルーシブ教育 ユニバーサル社会における様々な動向と、インクルーシブ教育の背景や意義、特別支援教育の現状等を理解する。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】配布資料の感想をまとめておくこと。	90分
第12回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論と内容・方法、計画・評価について、事例等に基づいて理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第13回	教育実践の基礎理論 教育実践のための基本的な理論を踏まえて、様々な事例を通して子どもや保護者への支援について理解を深める。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】ディスカッションの感想をまとめておくこと。	90分
第14回	現代教育の課題 現代における様々な教育課題の中から、関心のあるものを選び、ミニレポートにまとめる。	
	【予習】配布資料を通読のこと。	90分
	【復習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
第15回	現代教育の課題 教育課題のミニレポートにまとめたものを持ち寄ってグループディスカッションを行い、自分の教育観を捉え直すとともに、教育課題への関心を一層高める。	
	【予習】最終レポートの草稿の執筆をおこなうこと。	90分
	【復習】最終レポートの執筆をおこなうこと。	90分

授業科目名	子ども家庭福祉			科目コード	C113-10				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	社会福祉		後継科目	社会的養護					
関連科目	社会福祉								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許 社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。								
学習目標	児童のウェルビーイング（幸せ）を実現するための活動の総体である児童家庭福祉の理念・制度・方法について学び、児童家庭福祉専門職としての保育士に必要な基本的事項について理解することを目標とする。								
キーワード	子ども、家庭、ひとり親家庭、子どもの権利、児童虐待、社会的養護								
テキスト・ 参考書等	テキスト：立花直樹編著ほか『児童・家庭福祉論』（ミネルヴァ書房） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明することができる。								
LO-2	【技能】児童福祉の対象者にかかわる技能(寄り添うなど)を学ぶ								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 児童家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 児童のウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	20		6						26
LO-2	10		6						16
LO-3	10		6						16
LO-4	10		6			10			26
LO-5			6			10			16
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験については、実施後模範解答を示し、設問について解説する。 グループワークにより、多様な価値観を知る。また、ディスカッションにより否定しない、多様性を尊重したやりとりをめ								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する 児童家庭福祉の基本構造について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキスト序章を読み、児童家庭福祉の視点について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する / 児童家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める 用語の定義を整理する	90分
第2回	児童家庭福祉とは 子ども・家庭・福祉とは何か	
	【予習】 児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童と家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める / 第1章<まとめてみよう>	90分
第3回	児童と家庭・社会～子育てのいま・未来	
	【予習】児童と家庭を取り巻く現状の概要をテキスト第1章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育ての今後の課題を振り返る	90分
第4回	児童の権利に関する条約について 権利保障、権利擁護の取り組みを理解する。	
	【予習】児童家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト第2章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める / 第2章<まとめてみよう>	90分
第5回	児童家庭福祉の意義と歴史 児童家庭福祉の歴史 欧米の児童家庭福祉 日本の児童家庭福祉	
	【予習】児童家庭福祉の歴史の概要をテキスト第3章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める / 第3章<まとめてみよう>	90分
第6回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(1)：児童家庭福祉の制度と法体系 児童福祉法 / 児童家庭福祉に関する法律	
	【予習】児童福祉法と児童家庭福祉関係法律の概要をテキスト第4章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める / 第4章<まとめてみよう>	90分
第7回	「児童家庭福祉の制度と実施体制」(2)：児童家庭福祉行政と実施機関 児童家庭福祉の行政 / 児童家庭福祉の実施機関と施設	
	【予習】児童家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める / 第5章<まとめてみよう>	90分
第8回	児童家庭福祉の行政と実施機関	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト第6章、参考文献等で確認する	60分
	【復習】 子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第6章<まとめてみよう>	90分
第9回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：母子保健サービス 母子保健の理念 / 母子保健サービスの実施と体系 / 母子保健の取り組み	
	【予習】 母子保健サービスの概要をテキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第7章<まとめてみよう>	90分
第10回	「児童家庭福祉施設の利用と措置、保育・教育施設と幼保一体化」保育サービス 少子化と働き方改革 保育サービス・子育て支援サービス	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	60分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / <まとめてみよう> 保育所の設備及び運営に関する基準(最低基準)を見定める。	90分

第11回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス） 児童虐待 DV（ドメスティック・バイオレンス）	
	【予習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の概要をテキスト第9章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童虐待とDV（ドメスティック・バイオレンス）の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第12回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：社会的養護 社会的養護とは 代替的養護 社会的養護の状況と今後	
	【予習】 社会的養護の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：ひとり親家庭への福祉 ひとり親家庭の現状と生活状況 ひとり親家庭福祉サービスの概要	
	【予習】 ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト第11章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう>	90分
第14回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：障害のある子どもの福祉 「障害」観 障害児の定義と現状 障害児への福祉施策	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト第12章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分
第15回	「児童家庭福祉施策の現状と課題」：情緒障害・少年非行問題 情緒障害 少年非行	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める / 第13章 <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会的養護			科目コード	C113-11				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉		担当教員名	明柴 聡史					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、学生が社会的養護の機能と役割について理解できるように指導を								
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	子ども家庭福祉		後継科目	子ども家庭支援論					
関連科目	社会福祉 保育実習 -2								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	社会的養護について、「意義と歴史」「子ども家庭福祉との関連性及び児童の権利擁護」「制度と実施体系」「施設養護の実際」を柱に、現実を踏まえながら理解を深めます。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示します。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望します。								
学習目標	社会的養護の意義と歴史、制度、施設養護の実際、現状と課題について理解するとともに、児童福祉施設における援助者としての保育士の役割や援助について理解し、保育実習 の2(施設)に備えることを目標とします。								
キーワード	社会的養護・養育 家庭養護 家庭的養護 施設養護 児童福祉施設 児童養護施設 乳児院 里親 小規模化 地域分散化 高機能化								
テキスト・ 参考書等	テキスト：辰己隆・波田埜英治編『保育士をめざす人の社会的養護』（みらい） 参考書：『保育福祉小六法』（みらい）								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 社会的養護の意義や歴史、制度、施設養護の実際について基本的事項を理解するとともに、施設養護における保育士の役割や援助について理解している。								
LO-2	【技能】 社会的養護の対象に向けた援助の技能について理解している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 社会的養護の動向や方向性を踏まえ、問題解決のための方策について、考察を深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 社会的養護における児童の権利擁護や発達援助、自立支援について高い関心をもち、施設養護の援助者としての実践力の向上に努める。								
LO-5	【社会性・人間性】 価値観の多様性を認め、他者の意見を尊重しながら、自己の意見を適切に主張することができる。課題解決のために、他者と協働することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50		30			20			100
LO-1	30								30
LO-2			10						10
LO-3	20		10						30
LO-4			10			10			20
LO-5						10			10
備考	その他Aは平常点（授業参加態度及び毎回の出席カードによる質問・意見・感想の評価） 定期試験：教科書・小六法・ノート・配布プリントは持ち込み可 定期試験実施後、模範解答を示し、誤答の多い設問について解説する。 グループワークにより、多様な価値観を知る。実習に向けた調べ学習を行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」「社会的養護の意義」 本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する / 社会的養護の意義について学ぶ	
	【予習】シラバスを読み、本授業内容を把握する / テキストを読み、社会的養護の意義について確認する	90分
	【復習】授業の全体像について確認する 社会的養護の意義、理念、視点について、授業内容を把握し、理解を深める / 第1章 <まとめてみよう>	90分
第2回	「児童家庭福祉と社会的養護 子どもと家庭を取り巻く環境 / 児童養護問題（時代の変化と社会的養護のニーズ）」	
	【予習】児童家庭福祉と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童家庭福祉と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第3回	「社会的養護の歴史の変遷」 日本における社会的養護の歴史 / 欧米諸国における社会的養護の歴史と現状 / 子ども観の変遷	
	【予習】社会的養護の歴史の変遷について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の歴史の変遷について、授業内容を把握し、理解を深める / 第3章 <まとめてみよう>	90分
第4回	「児童の権利擁護と社会的養護」 基本的人権と子どもの権利 / 「児童の権利に関する条約」 / 権利擁護	
	【予習】 児童の権利擁護と社会的養護について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童の権利擁護と社会的養護について、授業内容を把握し、理解を深める / 第4章 <まとめてみよう>	90分
第5回	「社会的養護の制度と法体系」 社会的養護に関係する法律 / 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準	
	【予習】社会的養護の制度と法体系について、テキスト第5章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の制度と法体系について、授業内容を把握し、理解を深める / 第5章 <まとめてみよう>	90分
第6回	「社会的養護の仕組みと実施体制」 社会的養護の体系 / 施設養護 / 家庭養護 / 相談機関と支援体制	
	【予習】 社会的養護の仕組みと実施体制について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の仕組みと実施体制について授業内容を把握し理解を深める / 第6章 <まとめてみよう> 次の動画を見て、社会的養護のあり方について考えてみよう	90分
第7回	「施設養護の特質と基本原則」 施設養護とは（基本原理） / 施設養護の展開過程 / 施設養護のインケアの実際	
	【予習】施設養護の特質と基本原則について、テキスト第7章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】施設養護の特質と基本原則について、授業内容を把握し、理解を深める / 第7章 <まとめてみよう>	90分
第8回	「施設養護の実際」(1) : 児童養護系施設 乳児院 / 母子生活支援施設 / 児童養護施設	
	【予習】児童養護系施設における施設養護の実際について、テキスト第8章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童養護系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第8章 <まとめてみよう>	90分
第9回	「施設養護の実際」(2) : 障害児系施設 その1 ~ 肢体不自由児・重症心身障害児 ~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分
第10回	「施設養護の実際」(2) : 障害児系施設 その2 ~ 知的障害児 ~ 障害児入所施設 / 児童発達支援センター	
	【予習】障害児系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害児系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第9章 <まとめてみよう>	90分

第11回	「知的障害者のための施設」 知的障害の理解 / 知的障害者のための施設と支援	
	【予習】知的障害者のための施設における支援について、参考文献等で確認する	90分
	【復習】知的障害者のための施設における支援について、授業内容を把握し、理解を深める	90分
第12回	「施設養護の実際」(3)：治療・行動系施設 情緒障害児短期治療施設 / 児童自立支援施設	
	【予習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】治療・行動系施設における施設養護の実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第10章 <まとめてみよう>	90分
第13回	「里親養育の基本原則と実際」 里親制度 / 養子縁組 / ファミリーホーム"	
	【予習】里親養育の基本原則と実際について、テキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】里親養育の基本原則と実際について、授業内容を把握し、理解を深める / 第11章 <まとめてみよう> 幼少期の記憶について	90分
第14回	社会的養護にかかわる専門職 / 社会的養護にかかわる専門機関	
	【予習】社会的養護とソーシャルワークについて、テキスト第13章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護とソーシャルワークについて、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分
第15回	「社会的養護の動向と方向性」 社会的養護の施策の動向 / 社会的養護の課題	
	【予習】社会的養護の動向と方向性について、テキスト第15章、参考文献等で確認する	90分
	【復習】社会的養護の動向と方向性について、授業内容を把握し、理解を深める / <まとめてみよう>	90分

授業科目名	社会福祉			科目コード	C113-20				
科目区分	専門科目 - 保育の本質・目的 - 福祉	担当教員名	宮田 徹						
実務経験	児童福祉分野・障害者福祉分野の実務経験あり。								
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	保育実習指導 子ども家庭支援論 子育て支援						
関連科目	子ども家庭福祉 保育実習指導 日本国憲法								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許、社会福祉主事任用資格								
授業の概要	「社会福祉の理念・概念」「社会福祉の対象理解」「社会福祉の法制度」「社会福祉の実践方法」を柱として、それぞれの各論を説明しながら、社会福祉全体について現実を踏まえて授業を進める。その際、テキストを基本としながら、最新の資料や参考文献等を随時提示していく。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について独自に考察できるよう授業を組み立てていく。								
学習目標	「人々の幸せを目指す社会的努力」としての社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法を理解する。 保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。 社会福祉を自分の身近な問題として捉えることができるとともに、特に保育や子育てをめぐる生活課題について具体的に取り上げることができる。								
キーワード	ノーマライゼーション、ソーシャルワーク、社会福祉								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『保育と社会福祉』橋本好市・宮田徹編 みらい 参考書：『福祉・保育小六法』みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】社会福祉の理念・概念、対象理解、法制度・実践方法について理解できるとともに、特に保育と社会福祉の関係について、保育者の視点から具体的に説明できるようになる。								
LO-2	該当しない								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】社会福祉を自分の身近な問題として捉えるだけでなく、その社会的背景や解決すべき方策について論理的に考察し、学びを深めることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】社会福祉は生活に極めて密着した学問であることを的確に把握できるとともに、特に保育者としての視点から、子どもをめぐる生活課題等に関心を持って過ごすことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】社会福祉の理念を理解しながら、福祉マインドあふれる関わり方や他者との適切なコミュニケーションをすることが、保育者として持つべき資質であると理解して過ごすことができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		30						100
LO-1	30		10						40
LO-2									
LO-3	20		10						30
LO-4	10		5						15
LO-5	10		5						15
備考	1.期末試験(70%程度)、提出課題(30%程度)とし、総合的に評価します。 2.提出課題(レポート)は、毎回授業アンケートの回答内容(適宜指示します)を評価するものです。 3.提出課題については、次の授業中にコメントしてフィードバックします。 【期末試験主要項目】								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 【配布資料】オリエンテーション	
	【予習】保育と社会福祉：テキスト第1章を読んでみることで、我が国の社会福祉の現状について興味を持つ。	20分
	【復習】保育と社会福祉：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第1章を改めて読んでみることで、我が国の社会福祉の現状について、レジュメを確認する。 第1回Q&A（抜粋）	30分
第2回	社会福祉の考え方と役割(1)：社会福祉の意味・定義(社会福祉の概念・構造や基本的な考え方について、その理念・目標・範囲など) 【配布資料】第2回（第1章「保育と社会福祉」）	
	【予習】社会福祉の意味・定義：テキスト第1章を読んでみることで、我が国の社会福祉の現状から社会福祉の考え方と役割について興味を持つ。	30分
	【復習】社会福祉の意味・定義：社会福祉とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第1章を改めて読んでみることで、我が国の社会福祉の現状と社会福祉の考え方と役割について、レジュメを確認する。 第2回Q&A（抜粋）	50分
第3回	社会福祉の考え方と役割(2)：保育と社会福祉の関係(保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について) 【配布資料】第3回（第2章「社会福祉の考え方と役割」）	
	【予習】保育と社会福祉の関係：テキスト第2章を読んでみることで、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について興味を持つ。	30分
	【復習】保育と社会福祉の関係：保育の意味と社会福祉を学ぶ意義とは何かについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第2章を改めて読んでみることで、我が国の社会福祉の現状から保育の意味と社会福祉を学ぶ意義について、レジュメを確認する。 【参考】岡村重夫の「社会関係の二重構造」	50分
第4回	社会福祉の歴史(1)：欧米の社会福祉の歴史（イギリス・アメリカ・スウェーデンにおける社会福祉の歴史） 【配布資料】第4回（第3章「欧米と日本の社会福祉のあゆみ」1）	
	【予習】欧米の社会福祉の歴史：テキスト第3章第1節から第3節までを読んでみることで、我が国の社会福祉だけでなく、海外の社会福祉について興味を持つ。	30分
	【復習】欧米の社会福祉の歴史：海外の社会福祉、特にイギリス、アメリカ、スウェーデンの歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第3章第1節から第3節を改めて読んでみることで、我が国の社会福祉の現状だけでなく、海外の社会福祉について、レジュメを確認する。 第4回Q&A（抜粋）	50分
第5回	(2)：日本の社会福祉の歴史（戦前と戦後における社会福祉の展開、新しい社会福祉の理念と新しい展開、慈善事業、社会事業、戦後の福祉施策の流れ） 【配布資料】第5回（第3章「欧米と日本の社会福祉のあゆみ」2）	
	【予習】日本の社会福祉の歴史：テキスト第3章第3節を読んでみることで、我が国の社会福祉について興味を持つ。	40分
	【復習】我が国の社会福祉の歴史：我が国の社会福祉の歴史について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第3章第3節を改めて読んでみることで、我が国の社会福祉の歴史について、レジュメを確認する。 第5回Q&A（抜粋）	50分
第6回	社会福祉の法と実施運営体制(1)：我が国における社会保障の概念と体系（社会保険・公的扶助）の概念と体系について 【配布資料】第6回（第4章「生活を守る社会保障制度」）	
	【予習】社会保障の概念と体系：前回の日本の社会福祉の歴史をふまえたながら、テキスト第4章を読んでみることで、我が国における社会保障の概念と体系について興味を持つ。	40分
	【復習】社会保障の概念と体系：我が国における社会保障の概念と体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第4章を改めて読んでみることで、我が国における社会保障の概念と体系について、レジュメを確認する。 第6回Q&A（抜粋）	50分
第7回	社会福祉の法と実施運営体制(2)：社会福祉の制度・法体系 【配布資料】第7回（第5章「社会福祉の法体系と制度」）	
	【予習】社会福祉の制度・法体系：前回の我が国における社会保障制度をふまえながら、テキスト第5章を読んでみることで、我が国における社会福祉の制度・法体系について興味を持つ。	50分
	【復習】社会福祉の制度・法体系：我が国における社会福祉の制度・法体系について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第5章を改めて読んでみることで、我が国における社会福祉の制度・法体系について、レジュメを確認する。 第7回Q&A（抜粋）	60分
第8回	社会福祉の法と実施運営体制(3)：社会福祉の実施機関と行財政（国・都道府県、市町村の福祉行政機関、福祉の計画・財源について） 【配布資料】第8回（第6章「社会福祉の実施機関と行財政」）	
	【予習】前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキスト第6章を読んでみることで、我が国における社会福祉の実施機関と行財政について興味を持つ。	50分
	【復習】我が国における社会福祉の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第6章を改めて読んでみることで、社会福祉の実施機関と行財政について、レジュメを確認する。 第8回Q&A（抜粋）	60分
第9回	社会福祉の法と実施運営体制(4)：社会福祉の施設 【配布資料】第9回（第7章「社会福祉の施設」）	
	【予習】前回の我が国における社会福祉の制度・法体系をふまえながら、テキスト第7章を読んでみることで、我が国における社会福祉の施設について興味を持つ。	50分
	【復習】我が国における社会福祉の実施機関と行財政について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第7章を改めて読んでみることで、社会福祉の施設について、レジュメを確認する。 第9回Q&A（抜粋）	60分
第10回	子ども家庭支援と社会福祉：子どもの人権と子ども家庭福祉の理念、子ども家庭支援の施策と動向、保育施策の動向 【配布資料】第10回（第8章「子ども家庭支援と社会福祉」）	
	【予習】前回までの社会福祉の法と実施運営体制をふまえながら、テキスト第8章を読んでみることで、子ども家庭支援について興味を持つ。	60分
	【復習】子どもの人権と子ども家庭福祉の理念について自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第8章を改めて読んでみることで、子ども家庭支援と社会福祉について、レジュメを確認する。 第10回Q&A（抜粋）	60分

第11回	共生社会と障害者福祉：障害と社会、障害者福祉の法体系、障害のある子どもに関する施策とサービス 【配布資料】第11回（第9章「共生社会と障害者福祉」）	
	【予習】テキスト第9章を読んでみることで、障害者福祉について興味を持つ。	60分
	【復習】テキスト第9章を改めて読んでみることで、共生社会と障害者福祉について、レジュメを確認する。 第11回Q&A（抜粋）	60分
第12回	高齢者の福祉と介護保険：高齢者の福祉、介護保険制度、地域包括ケアシステム 【配布資料】第12回（第10章「高齢者福祉と地域包括支援」）	
	【予習】テキスト第10章を読んでみることで、高齢者の福祉と介護保険について興味を持つ。	60分
	【復習】テキスト第10章を改めて読んでみることで、高齢者の福祉と介護保険について、レジュメを確認する。 第12回Q&A（抜粋）	60分
第13回	地域福祉の意味と推進方法 【配布資料】第13回（第11章「地域福祉の意味と推進方法」）	
	【予習】テキスト第11章を読んでみることで、地域福祉の意味と推進方法に興味を持つ。	60分
	【復習】テキスト第11章を改めて読んでみることで、地域福祉の意味と推進方法について、レジュメを確認する。 第13回Q&A（抜粋）	60分
第14回	福祉サービスの利用と第三者評価、権利擁護と苦情解決 【配布資料】第14回（第14・15章「利用支援と第三者評価・権利擁護と苦情解決」）	
	【予習】第14章及び第15章を読んでみることで、福祉サービスの利用と第三者評価及び権利擁護と苦情解決に興味を持つ。	60分
	【復習】第14章及び第15章を改めて読んでみることで、福祉サービスの利用と第三者評価及び権利擁護と苦情解決について、レジュメを確認する。 第14回Q&A	60分
第15回	まとめ：社会福祉と保育士のこれから（社会福祉の現状と課題、社会福祉専門職としての保育士のあり方） 【配布資料】第15回（第16章「社会福祉と保育士のこれからの考える」）	
	【予習】まとめ：これまでの学習内容を確認しながら、社会福祉と保育士のこれからについて、テキストの第16章を読んでみることで、社会福祉の現状と課題、社会福祉専門職としての保育士のあり方について興味を持つ。	60分
	【復習】まとめ：社会福祉と保育士のこれからについて自分の言葉で説明できるとともに、テキスト第16章を改めて読んでみることで、社会福祉専門職としての保育士のあり方について、レジュメを確認する。	60分

授業科目名	保育の心理学			科目コード	C121-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子ども家庭支援の心理学					
関連科目	子どもの理解と援助 教育相談								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達等の側面から心理学的知見の基礎を学ぶ。また子どもの学びの過程を理解した上で、よりよい発達を促すために保育者としていかなる援助をすべきかを考える。さらに、障がいを持つ子ども、不適切な養育を受けた子どもの発達についても理解を深め、乳幼児期の発達の多様性と可塑性を学ぶ。								
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育実践に関わる発達理論等の心理学的知識を踏まえ、発達をとらえる視点について理解する。 2. 子どもの発達に関わる心理学の基礎を習得し、養護と教育の一体性や発達に即した援助の基本となる子ども理解を深める。 3. 乳幼児期の子どもの学びの過程や特性について基礎的知識を習得し、保育における人の相互的関りや体験、環境の意義 								
キーワード	子どもの身体発達、社会情動発達、認知発達、言語コミュニケーション発達、発達心理								
テキスト・ 参考書等	原口喜充編(2023)「実践に活かす保育の心理学」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕 乳幼児期の発達および学習に関する心理学の基礎的知識が習得できている								
LO-2	〔技能〕 発達に即した援助の基本となる子ども理解を深めるために、子どもを多面的な視点からとらえることができる								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕 子どもをめぐる今日的課題に対し、学習した知識や経験を結び付けて考えることができ、自分なりの意見を表現することができる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕 子どもの発達過程に関心を持ち、積極的に授業に参加し、問題意識をもって自ら課題に取り組むことができる。								
LO-5	〔人間性・社会性〕 仲間との積極的な意見交換を行い、協力してグループワークに取り組み、協力して課題達成ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	40	20	10			30			100
LO-1	20	10							30
LO-2	20	10							30
LO-3			10			10			20
LO-4						10			10
LO-5						10			10
備考	その他Aは、授業中の参加態度(課題への取組態度、発表の態度や表現、グループワーク、ディスカッションへの参加意欲や他者との協力の度合い、自らふり返り思考する力など)を総合的に評価する。レポートはコメントして返却する。答えは採点して返却、模範解答を提示する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 発達を学ぶ意義 初回授業赤ちゃんに関するアンケート 初回授業赤ちゃんのイメージに関するアンケート	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認する。 教科書pp.2-13を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.2-13を復習しておく。 赤ちゃんのふしぎな世界(日本産婦人科医会2018/1019動画)	90分
第2回	子どもの発達と環境	
	【予習】教科書pp.14-26を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.14-26を読み直し復習する。 アルバート坊やの恐怖条件付けに関する動画YouTube	90分
第3回	発達理論と子ども観・保育観 初期経験の重要性と生涯発達の視点から	
	【予習】教科書pp.27-40とp.7を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.27-40およびp.7を読み復習する。	90分
第4回	子どもの発達過程：身体・運動発達 脳のシナプスと神経回路YouTubeについて最初の3分間視聴するとよくわかります。	
	【予習】教科書pp.42-52を読んでおく。	90分
	【復習】課題小テスト1を行い送信する。 授業スライドを見直す。 教科書pp.42-52を読み直し復習する。	90分
第5回	子どもの発達過程：社会情動的発達 発達を支えるアタッチメント	
	【予習】教科書pp.53-66を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.53-66を読み直し、復習しておく。	90分
第6回	子どもの発達過程：社会情動的発達 自己と感情・情動の発達	
	【予習】教科書pp.67-80を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.67-80を読み復習する。	90分
第7回	子どもの発達過程：社会性の発達	
	【予習】教科書pp.81-93を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.81-93を読み復習する。	90分
第8回	子どもの発達過程：認知の発達 三つ山課題動画 保存概念動画	
	【予習】教科書pp.94-108を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト2を回答して送信する。授業スライドを見直す。 教科書pp.94-108を読み復習する。	90分
第9回	子どもの発達過程 言語の発達	
	【予習】教科書pp.109-120を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.109-120を読み復習する。	90分
第10回	発達障害と発達	
	【予習】教科書pp.121-134を読んでおく。	90分
	【復習】授業スライドを見直す。 教科書pp.121-134を読み復習する。	90分

第11回	発達障害と発達 DVD視聴から発達障害当事者世界についての理解を深める	
	【予習】東田直樹オフィシャルサイトを見ておく。 東田直樹「自閉症の僕が跳びはねる理由」をできれば読んでおく。	90分
	【復習】課題 「君が僕の息子について教えてくれたこと」を視聴し、「自閉症の僕が跳びはねる理由」の著者東田直樹さんと自閉症について、以下のレポートを作成する。 レポート書式に指定されたテーマでレポートを作成する。	90分
第12回	虐待から考える発達	
	【予習】教科書pp.135-149を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライドを見直す。 教科書pp.135-149を読み復習する。 セーブザチルドレンJAPANサイト	90分
第13回	保育にいかす学習理論	
	【予習】教科書pp.150-163を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト3提出。 授業スライドを見直す。教科書pp.150-163を読み直す。	90分
第14回	遊びの発達	
	【予習】教科書pp.164-177を読んでおく。	90分
	【復習】授業のスライド見直す。 教科書pp.164-177を読み復習する。	90分
第15回	乳幼児期の学びの過程と特性、乳幼児期の学びを支える保育	
	【予習】教科書pp.178-202を読んでおく。	90分
	【復習】小テスト4提出 教科書pp178-202を読み復習する。授業スライドを見直す。	90分

授業科目名	子ども家庭支援の心理学			科目コード	C121-11				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 心理		担当教員名	嶋野 珠生					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育の心理学		後継科目	子どもの理解と援助 教育相談					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	生涯発達の見点から人の発達のプロセスや初期経験の重要性を学ぶ。 また、親子関係や家族関係等について発達的な見点からの理解、および、子育て家庭をとりまく現代の社会的状況や問題についての理解と関心を深め、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
学習目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解する。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに親子関係や家族関係等について発達の見点から理解し、子どもとその家庭を包括的にとらえる視点を習得する。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解する。								
キーワード	生涯発達 初期経験 家族関係発達 子育て家庭 子育てをめぐる現代の社会状況 子どもの精神保健 保護者理解								
テキスト・ 参考書等	青木紀久代「子ども家庭支援の心理学」(みらい)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	〔知識・理解〕子ども家庭支援に関する心理学の基礎的知識の習得ができる。								
LO-2	〔技能〕基礎的心理学的知識に基づいた子ども家庭支援に必要な子どもと家庭を包括的にとらえる視点を習得する。								
LO-3	〔思考力・判断力・表現力〕学修した知識や自らの経験を組み合わせ、身近な子ども・子育てにまつわる問題に関連させて思考し、自分の考えを表現できる。								
LO-4	〔関心・意欲・態度〕子ども、子育てにまつわる現代的な問題に関心を持ち、自ら課題を見つけその解決のために主体的に学ぼうとする。								
LO-5	〔人間性・社会性〕子ども、保護者、仲間を尊重する視点をもち、授業内で仲間との協働作業を積極的に図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	30	15	10		20	25			100
LO-1	10	5	5			5			25
LO-2	10	5	5			5			25
LO-3	10	5				5			20
LO-4					10	5			15
LO-5					10	5			15
備考	その他Aは授業中の参加態度(意欲的な授業参加態度、グループワークやディスカッション、発表への積極性、授業振り返りで自分の考えを表現する力など)。レポートはコメントして返却する。答えは採点して返却、模範解答を提示する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 生涯発達の見点 ・エリクソンのライフサイクル論 乳幼児期から学童前期の発達 ・「となりのトトロ」から学ぶ メイ、サツキ	
	【予習】シラバスを見て授業内容を確認 保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書28-43に目を通す	20分
	【復習】オリエンテーションを振り返り、半期間の授業予定の振り返り、WEBシラバスへのコメント 授業スライドを見直す。 ユニセフ幸福度ランキング<日本レポート>	90分
第2回	学童期後期から青年期の発達 ・「千と千尋の神隠し」から学ぶ 千尋	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り 教科書46-63に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント 授業スライド	90分
第3回	青年期、成人期から老年期の発達 映画に見る親密性、世代性、統合	
	【予習】保育の心理学で学んだ該当箇所の振り返り、教科書66-77を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し WEBシラバスへのコメント 小テスト1提出 授業スライド	90分
第4回	家族・家庭の意義と機能/親子関係・家族関係の理解 ・家族の発達段階、ジェノグラムから見える家族関係	
	【予習】教科書の該当ページ94-113を読む	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、授業スライド見直し	90分
第5回	子育てを取り巻く社会状況 少子化、非婚化等の社会状況、日本の育児が置かれた社会的状況の理解 NHKスペシャル「ママたちが非常事態」を見ながら	
	【予習】教科書の該当箇所114-118に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへのコメント 授業スライド見直し	90分
第6回	実習を終えて、0.1.2歳児の姿を振り返る 0.1.2歳児の発達課題をもう一度 授業内にワークシート(課題)を仕上げる たまごの赤ちゃん課題説明	
	【予習】実習日誌を持参する、0.1.2歳児の発達が表れていると思うエピソードを選んでおく	90分
	【復習】課題：授業で完成させたワークシート を提出。 使用した教科書、ワークシートの見直し 課題	90分
第7回	子育ての経験と親としての育ち ・こどもが生まれることで起こる心身の変化、家族の変化、 ・「ママたちが非常事態」視聴から	
	【予習】教科書の該当箇所114-118に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書、プリントの見直し、WEBシラバスへのコメント 授業スライド復習	90分
第8回	たまごの赤ちゃん課題のグループ発表 ライフコースと仕事・子育て 親になるということ、子どもを育てるとのこと、親としての成長発達	
	【予習】教科書の該当箇所119-122に目を通す	90分
	【復習】 たまごの赤ちゃん課題の提出 振り返りを書きましょう。 >授業スライド復習する	90分
第9回	子育てを取り巻く社会状況 ・こどもの貧困について 石井光太「本当の貧困の話をしよう」を読んで考える	
	【予習】教科書の該当箇所144-150に目を通す	90分
	【復習】授業で使用した教科書やプリントの見直し、WEBシラバスへのコメント提出 授業スライド復習	90分
第10回	多様な家庭形態とその理解 1 里親等 ワーク1：里親制度を知るを開き、ワークシートの質問に沿って、里親制度について調べたことを記入する。 ワーク2：特別養子縁組制度を知るを開き、ワークシートの質問に沿って、特別養子縁組についても調べたことを記入する。	
	【予習】前回授業の復習をしておく	90分
	【復習】第10回授業スライド見直し 今日の課題 小テスト 提出 〆切：	90分

第11回	多様な家庭形態とその理解2 里親 ゲストスピーカーの話から学ぶ	
	【予習】前回授業の復習をしておく	90分
	【復習】振り返りアンケートの記入 本日の話と前回のWSの見直しをしておく	90分
第12回	多様な家族とその理解3 性的マイノリティ NHKスペシャル「カラフルファミリー2」視聴から考える 富山県HP 富山県パートナーシップ宣誓制度について	
	【予習】教科書該当ページを読んでおく	90分
	【復習】課題ミニレポート 提出 ※切： 授業スライド見直し復習すること	90分
第13回	子どもの生活・生育環境とその影響 ・ マルトリートメントが及ぼす子どもへの影響とその回復を知る。	
	【予習】教科書該当ページp.144-161を読んでおく	90分
	【復習】ACE研究のTEDTalks動画 課題 友田先生のマルトリに関する動画視聴しておくこと（サイトを開き下にスクロールすると動画があります）	90分
第14回	特別な配慮を要する家庭 ・ 病気、障害、貧困、傷つき体験、DV, 虐待など 目黒区虐待死事件から学ぶ	
	【予習】予習課題：目黒区虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事を以下のリンクから読んでから授業に参加すること。 目黒虐待死事件「結愛」ちゃんの母の獄中手記に関する記事	90分
	【復習】課題：ミニレポート 提出。 授業で使用したプリントや資料の見直しと整理、 第14回授業スライド復習	90分
第15回	子どもの心の健康にかかわる問題 日本児童青年精神医学会リンク 国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター ストレス・災害時こころの情報支援センターリンク	
	【予習】教科書の該当箇所174-187に目を通す	160分
	【復習】期末の授業アンケートに答える 今日の課題 >小テスト	90分

授業科目名	子どもの保健			科目コード	C123-10				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院14年勤務をはじめ、訪問看護・施設等での勤務経験を活かし、保育士や介護福祉士の資格取得に必要な知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの健康と安全					
関連科目	保育の心理学 子どもの食と栄養								
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	子どもの健康と保健の意義を学び、健康に関する現状を統計に基づき課題を把握し、保育士として関係機関との連携方法を理解する。心身の発達や保健活動の実際と、保護者との関係について理解する。疾病の予防・対応を学び、心身の不調の早期発見や適切な具体的な対応を理解する。講義、意見交換から自ら考える学習を目指します。								
学習目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。子どもの身体発達や生理機能及び運動機能並びに精神発達と保健について理解できる。子どもの疾病とその予防法及び適切な対応、保健活動の計画及び評価について理解できる。保育士として必要な知識・対応について考察できる。								
キーワード	保健活動 発育・発達 児童虐待 健康状態の観察 子どもの疾病								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」2024 改訂第3版 診断と治療社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの保健について理解し、試験で正しく答えられる。子どもの健康状態・対応を疾病等の根拠から説明できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として子どもの健康を取り巻く状況を理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の疾病・対応や保険制度の知見の把握に努め、意欲的に授業に参加し看護について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として根拠と思いやりを持って看護できるように取り組むことができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	30	10			10			100
LO-1	30	20	10			5			65
LO-2	5								5
LO-3	5								5
LO-4	5	5				5			15
LO-5	5	5							10
備考	定期試験：感染症の状況により、試験形式は変動することがある。(原則は対面で試験、レポート) 誤答の多い設問に、模範解答を示す。 レポート：随時単元により実施 その他A：授業参加態度 、ミニツペーパー、ノート提出(課題、振り返り問題等の自己学習を記載) 右のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します。(グループワーク、ディスカッション)								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 保健活動の意義と目的	
	【予習】 体調確認記録継続 テキストを読む P1-13	30分
	【復習】 資料ファイルの作成 ノートを作成する。人体各部の名称、主な骨の名称など自己学習を記入する。	60分
第2回	子どもの出生と母子保健の意義	
	【予習】 テキスト P14-18を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 自分の母子手帳を確認・インタビューをしてレポート作成	120分
第3回	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
	【予習】 テキスト P21-28を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第4回	子どもの身体発育と運動機能の発達	
	【予習】 テキスト P31-43を読む	0分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	0分
第5回	子どもの身体発育と生理機能の発達と生活習慣	
	【予習】 テキスト P45-52を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第6回	子どもの発育・発達と保健 まとめ	
	【予習】 テキストを読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 1から6回の復習	120分
第7回	地域における保健活動と子どもの虐待防止	
	【予習】 テキスト P55-62を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第8回	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握 参照：保育所における感染症対策ガイドライン https://kodomoenkyokai.or.jp/wp-content/uploads/2023/05/60342170aa360b5cce6f4ffe341a8a6c.pdf	
	【予習】 テキスト P65-69を読む	60分
	【復習】 資料整理 小テストの範囲（振り返り問題やテキスト重要本文など復習）	120分
第9回	小テスト【1-9回までの範囲（30分）】 子どもの病気 子どもの免疫の発達と感染症の特徴	
	【予習】 今までの復習 テキスト P67-74を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 感染症の課題作成、次回提出	120分
第10回	子どもの病気 感染症の予防および適切な対応	
	【予習】 テキスト P81-87を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分

第11回	新生児の病気 感染症、新生児期にわかる先天性の病気の特徴と対応	
	【予習】テキスト P 99-104を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第12回	慢性疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキスト P 115-126を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第13回	アレルギー疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキスト P 106 - 113を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題	120分
第14回	救急疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】 テキスト P 89 - 97を読む	60分
	【復習】 資料整理 振り返り問題 期末試験対策課題	165分
第15回	保護者との情報共有と家族の支援 子どもの健康診断と関連機関との連携 *試験の説明 まとめ	
	【予習】テキスト P 129 - 147を読む	60分
	【復習】試験対策 【9回からの範囲】	165分

授業科目名	子どもの健康と安全				科目コード	C123-11			
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	松居 紀久子					
実務経験	看護師・介護支援専門員として大学病院14年勤務をはじめ、訪問看護・施設等での勤務経験を活かし、保育士や介護福祉士の資格取得に必要な知識と技術を実践的に解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの保健		後継科目						
関連科目	子どもの家庭支援の心理学 子どもの食と栄養 乳児保育								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育環境や援助を保健的観点から、関係する各種ガイドライン等から、具体的に理解する。障害、感染症、アレルギー、事故、災害の最新の知見を学び、子どもの健康及び安全を守るための具体的な対応を実践的に身につける。保健指導を計画的に実践して、組織的体制づくりを理解する。小グループで課題達成に向け、事故の役割を理解し積極的に授業参加できるように展開する。								
学習目標	<p>保育における衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策について、具体的に理解する。 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解する。</p> <p>子どもの健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について、具体的に理解できる。</p>								
キーワード	安全な保育環境 事故災害防止 感染症対策 アレルギー対策 保健計画								
テキスト・ 参考書等	<p>テキスト：授業で現場で役立つ！子どもの健康と安全演習ノート 2024年 改訂第3版 診断と治療社 *前期の「子どもの保健」や「乳児保育」のテキストを参照・持参、資料の持参を適宜指示する</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	(知識・理解)子どもの健康と安全についてガイドライン等を理解し、試験で正しく答えられる。子どもの状況や対応を保健計画に反映し保育士としての役割を理解・実践できる。								
LO-2	(技能)子どもの健康状態の把握、生命維持のための正確な技術を身につけている。								
LO-3	(思考力・判断力・表現力)専門職として各種ガイドラインを理解し、保健活動について考察・発表できる。								
LO-4	(関心・意欲・態度)最新の知見と現状分析の把握に努め、意欲的に授業に参加し安全確保について学びを深める。								
LO-5	(人間性・社会性)子どもの生命を尊重し、愛情を持って関わり育むことができる。専門職として他職種や関連機関と連携して養護できるように取り組むことができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	45		10	15	15	15			100
LO-1	20		5	10		5			40
LO-2	10			5		10			25
LO-3	5		5		5				15
LO-4	5				5				10
LO-5	5				5				10
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ A：授業の実技等の取組・ミニッツペーパー(10)、課題ノート提出(5)(おさらいテストなど、15回目回収する) ・ 試験は原則対面で実施するが、感染症等の状況に応じて課題レポートとする。誤答の多い設問、模範解答を示す。 ・ 「右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：グループワーク、プレゼンテーション」 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 子どもの健康と保育の環境 各測定と評価	
	【予習】テキストを読む P1-17	15分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第2回	個別対応と集団全体の健康 健康及び安全管理 衛生管理	
	【予習】テキストを読む P25 - 47 *ハサミ・のり用意	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第3回	体調不良や傷害時の対応 保健的対応の基本 3歳未満児への対応 *乳児保育テキスト持参 危機管理と災害への備え	
	【予習】テキストを読むP93 - 110 実習先の市町村ハザードマップ確認	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第4回	保健的対応の基本 保健的対応の基本 3歳未満児への対応 実習からの学びから 個人まとめ KJ法	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第5回	発表 危機管理と災害への備え	
	【予習】実習の振り返り	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第6回	感染症の予防と対応 病後児保育DVD	
	【予習】テキストを読む P77 - 89	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第7回	健康および安全管理の実施体制 ・世界の子どもを取り巻く調査	
	【予習】こどものニュース検索	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第8回	衛生管理 沐浴 など 子どもへの適切な対応	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分
第9回	個別的な配慮・障害を必要とする子どもへの対応 医療的ケア	
	【予習】テキストを読む123-129	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第10回	健康および安全管理の実施体制 保育における保健計画及び評価 職員間の連携・協働と組織的取組 子どもを中心とした家庭・専門機関・地域との連携	
	【予習】テキストを読む p 137-148	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	25分

第11回	健康および安全管理の実施体制 保育における保健計画及び評価保健計画 保健だよりの意義・作成	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第12回	障害のある子どもへの適切な対応 発達障害児の生活の構造化を作成	
	【予習】テキストを読む	20分
	【復習】・資料整理・テキスト復習	25分
第13回	アレルギー アナフィラキシーショック対応 災害の備えと危機管理 E館 プロジェクト	
	【予習】震災・災害関係の報道等の調査	20分
	【復習】・発表準備	25分
第14回	E館 プロジェクト発表 試験のオリエンテーション	
	【予習】発表準備	20分
	【復習】・レポート作成	60分
第15回	救命救急の対応 まとめ 課題の提示	
	【予習】テキストを読む P63-69	60分
	【復習】・資料整理・テキスト復習 ・おさらいテストノート整理	60分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-20				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	城岡 恭子					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	子どもの食と栄養					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	子どもを取り巻く食の現状と課題を理解し、子ども一人ひとりの心身の状態や発達過程を踏まえ、主に乳幼児期の食生活の意義について理解する。さらに栄養と食品に関する基本的知識を座学、調理実習を通して身につける。								
学習目標	子どもの食と栄養に関する基本的知識を習得する 乳幼児期の食事が果たす役割の大切さを理解する								
キーワード	子どもの食と栄養 発達過程 乳幼児 食生活の意義 栄養の基本的知識								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 第3版』 太田百合子、堤ちはる 編著 羊土社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得し、子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食に関わる実践力を備えている。								
LO-2									
LO-3									
LO-4	質問、感想の内容など授業への積極的な授業態度がみられる。								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	70		10			20			100
LO-1	70		10						80
LO-2									
LO-3									
LO-4						20			20
LO-5									
備考	その他：Aは、質問、感想や授業態度などを総合して評価する。 アクティブラーニング有 ・グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション 課題に対する学生へのフィードバックについて								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの食と栄養の概要説明をし、子どもの健康と食生活の意義について解説する	
	【予習】食と栄養を学ぶ意義を考え、テキスト第1章1, 2を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を整理し、最近の子どもの取り巻く現状について考えてみる	30分
第2回	子どもの発育・発達と栄養について解説する	
	【予習】テキスト第1章3を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第3回	栄養に関する基本的知識や糖質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキスト第2章1, 2を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第4回	脂質とたんぱく質の種類と機能について解説する	
	【予習】テキスト第3章3のB,Cを読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第5回	ビタミンの種類と機能について解説する	
	【予習】テキスト第2章3のDを読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第6回	ビタミン、ミネラル、食物繊維、水分について解説する	
	【予習】テキスト第2章3のE,F,Gを読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第7回	日本人の食事摂取基準の意義とその活用について解説する	
	【予習】テキスト第3章1を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第8回	献立作成と調理の基本、食事バランスガイド等の使い方について解説する	
	【予習】テキスト第3章2を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第9回	妊娠期・授乳期の食生活、乳汁栄養について解説する	
	【予習】テキスト第4章を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第10回	乳児期の食生活について解説する	
	【予習】テキスト第5章を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分

第11回	幼児期の心身の発達と食生活の特徴について解説する	
	【予習】テキスト第6章1のAを読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第12回	幼児期の間食の意義と栄養上の問題について解説する	
	【予習】テキスト第6章1のBを読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第13回	学童期・思春期の食生活について解説する	
	【予習】テキスト第7章を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	25分
第14回	食物アレルギーとその対応について解説する	
	【予習】テキスト第12章を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第15回	これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】テキストで期末試験範囲を読み、学習内容の問題点を考えておく	10分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	子どもの食と栄養			科目コード	C123-21				
科目区分	専門科目 - 保育の対象理解 - 保健		担当教員名	城岡 恭子					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)	子どもの食と栄養		後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	「子どもの食と栄養」で学んだ食と栄養に関する基本的知識に基づき、発育・発達時期の異なる食事や調理、食育の重要性、子どもの家庭における栄養指導について学ぶ。さらに食にかかわる保育実践や子ども集団全体の食事と栄養について理解を深め、柔軟に活用できる実践力を身につける。								
学習目標	子どもの食事活動を計画し、保育実践の場で活かせる指導力を育むこと。 調理の実習では身支度をしっかり整え、安全面や衛生面に気をつけて行うこと。 毎回のまとめとしてレポートを必ず提出すること。								
キーワード	発達・発育時期の食事 調理 食育 栄養								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『子どもの食と栄養 第3版』 太田百合子、堤ちはる 編著 羊土社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	保育の対象となる子どもの食と栄養に関する専門的な知識を習得している								
LO-2	子どもの発達支援に必要な保育の表現技術を身につけており、家庭支援においてもその技術を応用できる								
LO-3	レポートから論理的な考察が見られ、自らを省察し、実践的に問題解決方法を見極めることができる								
LO-4	子どもの育ちと乳幼児が育つ食環境を的確に把握し、社会のニーズに応じた食事に関わる保育実践力を備えている								
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		20			20			100
LO-1	60								60
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4						20			20
LO-5									
備考	グループワーク、実習、ディスカッションあり。レポートにはコメントをつけて返却する その他：Aは、授業時の積極性、質問や授業態度などを総合して評価する 調理実習の日程は初回授業時に連絡する								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の全体概要について説明する 食育の内容と計画、食育のための環境づくりについて解説する	
	【予習】テキスト第9章3, 4を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第2回	【調理実習1】育児用粉乳の調乳 調理実習の実習心得と調理の基本について解説する 育児用粉乳の調乳・授乳方法を実際に体験する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキストp67を読んで要点を再確認する エプロン、三角巾、マスク、筆記用具、集金用紙、実習費を用意	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第3回	【調理実習2】離乳食の実習(1) 離乳時期(離乳形態)の異なるベビーフードを味わい、物性や栄養成分の違いから特徴を比較する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト第5章2を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストとプリントにより要点を整理する	30分
第4回	食育の内容と計画、食育のための環境づくりについて解説する	
	【予習】テキスト第9章3, 4を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第5回	保育所における食育について解説する	
	【予習】テキスト第9章1のDを読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	20分
第6回	保育実習を終えて「乳幼児の食」についてグループで意見を出し合い討論する。その内容を全体で共有する	
	【予習】2週間の保育実習を終えて「乳幼児の食」について体験したことを書き出してみる	15分
	【復習】授業を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第7回	【調理実習3】離乳食の実習(2) 離乳食を調理し、調理方法、量や味付けなど特徴を学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト第5章2を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第8回	家庭や児童福祉施設における食事と栄養について説明し、そのなかで保育士の果たす役割について考える	
	【予習】テキスト第10章を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第9回	【調理実習4】幼児期の実習(1) 幼児期の昼食を調理、盛付けをし、量や工夫等について学ぶ	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト第6章を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】テキストを参考にして配布プリントの考察などを仕上げる	30分
第10回	【調理実習5】幼児期の実習(2) 子どもと一緒に楽しむ間食(おやつ)、食物アレルギー対応のおやつを実習する	
	【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト「間食の意義」、「食物アレルギーの基礎知識」を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの各項目をテキストを参考に仕上げる	30分

第11回	特別な配慮を要する子どもの食と栄養について解説する	
	【予習】テキスト第11章を読んで要点を理解する	15分
	【復習】授業内容を振り返り、要点を確認、まとめる	30分
第12回	【調理実習6】妊娠期の実習 妊娠期の食事を実習し、各期の特徴を理解する	
	【予習】【予習】前期講義内容を振り返り、テキスト第4章を読んで要点を再確認する	15分
	【復習】配布プリントの妊娠期の栄養と食生活における留意点についてテキストを参考に仕上げる	30分
第13回	【調理実習7】正月料理の実習 正月料理の由来や材料の縁起について解説し、正月料理を実習する	
	【予習】我が家の正月料理や雑煮について家族に聞いておく	15分
	【復習】正月料理を実際に作ってみる おせち料理・雑煮についてまとめる	30分
第14回	【調理実習8】郷土料理の実習 富山の郷土料理を実習し、地域の伝統食を知る	
	【予習】富山の郷土料理にはどのような料理があるか調べてみる	15分
	【復習】家庭で実際に郷土料理を作り、その他の伝統食について調べる	30分
第15回	郷土料理や和食の特徴について解説する これまでの学習まとめと期末試験について解説する	
	【予習】学習してきた内容について振り返り、問題点を考えておく	15分
	【復習】期末試験範囲の内容について十分理解し、ノートを整理する	40分

授業科目名	教育課程論			科目コード	C131-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育方法	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	講義						
必修・選択	必修	単位数	2単位						
前提科目(知識)	なし	後継科目	教育方法論						
関連科目	保育原理 教育原理 保育内容総論								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	カリキュラムの基礎理論を知り、計画・評価の意義や保育の過程の循環が保育の質向上を図ることを理解する。また、保育における計画の構造を知り、全体計画と指導計画及びその他の計画をマネジメントする力を身に付ける。								
学習目標	教育課程の役割・機能・意義を理解する。 教育課程編成の基本原則及び保育実践に即した計画の編成方法を理解する。 園全体の計画を総合的にマネジメントする意義と方法を理解する。								
キーワード	カリキュラム 指導計画 PDCA 質の向上 カリキュラム・マネジメント								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『教育課程・保育の計画と評価』萌文書林 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館）『幼保								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼稚園教育要領等の性格や教育課程編成の目的、社会的役割、機能を理解し、筆記試験で正しく回答することができる。また、カリキュラムの基本原則についての確に述べることができる。								
LO-2	【技能】 指導計画の作成手順をふまえて、ねらいと内容を設定することができる。子ども理解につながる保育記録作成に努める。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 一連の保育の過程と関連づけながら指導計画を評価し、改善案を考えることができる。カリキュラム評価の基礎的な考え方ができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 教育課程が、地域社会や家庭・園環境と密接な関連があることを理解し、PDCAサイクルに活かすことができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 保育事例等の討議に積極的に参加する。自らの意見を他者に表明するとともに、他者の意見を受容し、自らの意見に反映させることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	20	20			10			100
LO-1	20	20							40
LO-2			10						10
LO-3	15		10						25
LO-4	15								15
LO-5						10			10
備考	アクティブラーニングの実施：グループワーク、ディスカッション等を実施する。 その他Aはアクティブ参加時の態度や課題シートの提出状況とする。 提出課題に対しては口頭及び紙面にてコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を試験後にWebシラバス第15回に示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	カリキュラムの意義について 保育所保育指針及び幼稚園教育要領における「カリキュラム」の位置づけ	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領で「カリキュラム」に関する記述部分を読む。 重要となるワードを整理してまとめる	90分
	【復習】講義内容をまとめる。要領、指針等の重要語句を覚える。	90分
第2回	計画の根拠となる法令の確認 教育に関するカリキュラムの種類<教育課程、全体的な計画、指導計画(長期・短期)>とその内容	
	【予習】教科書の該当部分を読む	60分
	【復習】カリキュラムの種類とそれぞれの特徴について、整理してまとめる。 教科書の重要語句を覚える。	120分
第3回	全体的計画と指導計画 それぞれの特徴	
	【予習】 保育の計画の基本原則をまとめる	60分
	【復習】保育の計画の構造を理解する。 指導計画の特徴についてまとめておく。 課題：実習先の保育理念や保育目標を調べて記載する	120分
第4回	全体的な計画の内容 保育の過程(計画、実践、省察・評価、改善)について	
	【予習】全体的な計画と指導計画の基本原則を教科書及び資料で確認し、理解する。	60分
	【復習】課題シートを完成する	120分
第5回	保育の過程(計画、実践、省察・評価、改善)について 保育の評価について 記録の重要性 グループワーク	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の評価に関する部分を読む	40分
	【復習】課題を完成する。 1 保育のエピソード記録を読み、感想を書く 2 自分の保育エピソードを書く。	90分
第6回	保育の評価について 省察と改善 グループワーク	
	【予習】これまでの実習日誌を読み、自分の記録の課題についてまとめてくる。	120分
	【復習】講義内容をノートにまとめる。 課題プリント(エピソード理解)を仕上げる。	120分
第7回	カリキュラムマネジメントの意義・理解 指導計画の作成と展開 縦断的な視点をもつ 小テストの実施	
	【予習】小テストの準備	100分
	【復習】教科書該当部分を読む。小テストの振り返り	100分
第8回	カリキュラムマネジメントの理解 指導計画の作成と展開 年間指導計画～月間指導計画へ 月間指導計画～週案へ	
	【予習】過去の配布資料で、計画の種類と特徴を確認しておく。	90分
	【復習】小テストの準備	90分
第9回	カリキュラムマネジメントの理解 指導計画の作成と展開 日案から週案へ 週案から日案へ 保育実践に向けて	
	【予習】教科書該当部分を読む	50分
	【復習】教科書及び講義中の資料について、日案と週案との関連をマーク付けする。 講義内容をノートにまとめる。保育実践の準備をする。	130分
第10回	カリキュラムマネジメントの理解 保育実践 指導案作成 指導計画の作成 長期と短期の指導計画	
	【予習】活動の指導計画案を考える。 実践の準備をする。	90分
	【復習】保育実践に関わる課題プリントに取り組む。 保育実践の準備をする。	90分

第11回	カリキュラムマネジメントの理解 指導計画の作成と展開 実習指導計画の作成 部分・一日 保育実践	
	【予習】 指導案の作成と保育実践の準備	90分
	【復習】 保育実践や課題内容をまとめる。	90分
第12回	カリキュラムマネジメントの実際 指導計画の作成と展開 実習指導計画の発表・討議 保育実践と評価	
	【予習】 保育実践の評価 課題シートの作成	90分
	【復習】 課題プリントを仕上げる。	90分
第13回	カリキュラム・マネジメントの実際 保育実践と評価	
	【予習】 課題をすすめておく 教科書の指定ページを読んでくる。	60分
	【復習】 課題プリントを仕上げる。	120分
第14回	小学校との連携 ～ 生活と発達の連続性をふまえた計画	
	【予習】 保育所保育指針・幼稚園教育要領で、「小学校の連携」に関する記述を読む。 教科書の小学校への接続に関する説明の文章を読む。	60分
	【復習】 課題シートの整理、試験の準備	120分
第15回	これまでの学習のまとめ	
	【予習】 試験に関する項目を教科書や指針で確認しておく。	90分
	【復習】 筆記試験にむけて準備する。	120分

授業科目名	保育内容総論			科目コード	C133-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	日光 恵利						
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	子どもと健康 子どもと人間関係 子どもと環境 子どもと言葉 子どもと音楽表現						
関連科目	保育内容（健康）指導法 保育内容（言葉）指導法 保育内容（音楽表現）指導法 保育内容（造形表現）指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	保育内容が乳幼児の遊びや生活として総合的に展開される過程を、乳幼児の姿と5領域のねらい及び内容と関連付けて学ぶ。また、保育・幼児教育は環境を通して行われることを踏まえ、環境を構成し実践するために必要な知識と基本的な保育者の関わりの方法を修得する。								
学習目標	保育・幼児教育の基本を踏まえた保育所・幼稚園・こども園における保育の内容について総合的に理解する。遊びや生活を総合的に展開していくために必要な環境構成と保育者の関わりについて理解する。								
キーワード	遊び 環境構成 保育者の関わり ねらいと内容 養護と教育								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『演習 保育内容総論 あなたならどうしますか?』 酒井幸子・守巧 萌文書林 参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育・幼児教育の基本を理解し、保育のねらい及び内容について基礎的な知識を身につけている。								
LO-2	【技能】保育内容を総合的に展開するために必要な環境構成に関する基本的な技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育・幼児教育の基本を踏まえた遊びや生活を展開する際に、適切な環境構成と保育者の関わり方を考察し選択できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】配布プリントや資料を基に、問題意識を広げながら学習を深めることができる。								
LO-5	【人間性・社会性】グループワークなどに積極的に参加し、他者との協働を図ることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		60	20		10	10			100
LO-1		30							30
LO-2		20							20
LO-3		10	10						20
LO-4			10		10				20
LO-5						10			10
備考	その他A：グループワークへの取り組み姿勢 授業で配布されたプリント、資料などを整理し保管すること。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	○オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明） ○保育内容を総論として学ぶとは ○保育内容の歴史の変遷	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト序章・第1章を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	○保育における5領域のねらい及び内容の関連性	
	【予習】テキスト第4章7節を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	○保育の計画と観察・記録と評価	
	【予習】テキスト第2章を読む。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	○保育実習時のエピソード記述作成	
	【予習】実習記録を振り返り、エピソードを整理しておく	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	○エピソード記述を基に、保育における総合的な視点を理解する	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第6回	○保育、幼児教育の基本と保育内容	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	○領域と保育内容（環境構成とは何か 環境構成の必要性について学ぶ）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第8回	○領域と保育内容（乳幼児が落ち着いて過ごせる環境構成、園庭環境について学ぶ）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第9回	○領域と保育内容（乳幼児が豊かな経験ができる遊びの環境構成について考察する）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第10回	○養護と教育の一体的展開（事例を通して、養護と教育が一体的に展開する過程を理解する）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

第11回	○気になる子どもの保育 ○幼保小の連携	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第12回	○多様な保育の展開 気になる子どもの保育、外国にルーツをもつ子どもの保育、地域交流と保育等の事例について、グループ討議を行う。	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第13回	○多様な保育の展開 グループ討議の結果をまとめる。	
	【予習】関連資料を収集する。	30分
	【復習】	0分
第14回	○多様な保育の展開 グループ討議の結果を発表する	
	【予習】グループ討議の結果を発表用にまとめる。	60分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第15回	○学びのまとめ	
	【予習】確認テストの準備をする	60分
	【復習】授業内で配布されたプリント、資料を整理し、要点をまとめる。	30分

授業科目名	子どもと言葉			科目コード	C133-50				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	日光 恵利						
実務経験	保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	保育内容総論	後継科目	保育内容(言葉)指導法						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	領域「言葉」の指導の基盤となる、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために必要な基礎的知識を修得する。人間ならではの言葉の意義と機能を理解したうえで、乳幼児の言葉を育み、言葉に対する感覚を豊かにするための教材や実践に関する知識を修得する。								
学習目標	人間にとっての言葉の意義や機能を理解し、乳幼児の言葉の獲得過程が説明できる。 言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解し、実践するための基礎的な知識を身に付ける。 乳幼児にとっての児童文化財(絵本、紙芝居、素話等)の意義を理解し、実践するための基礎的な知識を身に付ける。								
キーワード	発達と言葉 言葉に対する感覚 絵本								
テキスト・ 参考書等	参考書：『保育所保育指針解説』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の言葉の発達過程を理解し、乳幼児が豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるための基礎的な知識を修得している。								
LO-2	【技能】児童文化財の意義を理解し、教材を準備・実践する基礎的な技術を修得している。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】言葉の感覚を豊かにする実践について理解し、乳幼児の発達に合わせて構想・展開できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】乳幼児の言葉の育ちに関心を持ち、豊かな言葉の経験ができるような環境を意欲的に模索する。								
LO-5	【人間性・社会性】グループ討議に積極的に参加し、他者との協働を図る。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		40				20	30	10	100
LO-1		40							40
LO-2						15			15
LO-3						5	10		15
LO-4							20		20
LO-5								10	10
備考	その他A：絵本リスト その他B：エピソード記述 その他C：グループワークなどの取り組み姿勢 授業で配布されるプリント・資料を整理しておくこと。図書館などで意識的に絵本に触れておくこと。 提出課題に対しては、口頭及び紙面にてコメントを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業のねらい、方法、評価等についての説明） ○言葉の役割	
	【予習】シラバスを読み、授業で扱う事項を確認する。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第2回	○乳児の言語発達 ○3法令における乳児保育の視点	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第3回	○幼児期前半（1～2歳児）の言語発達 ○3法令における領域「言葉」	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第4回	○保育実習時のエピソード記述の作成	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第5回	○エピソード記述から学ぶ	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第6回	○児童文化財の意義	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第7回	国内外の絵本や原画に接し、絵本への理解と知識を深める（学外学習）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分
第8回	○絵本の手作り体験を通して教材研究を行う（学外学習）	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	60分
第9回	○児童文化財を用いた実践	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第10回	○幼児期後半（3～5歳児）の言語発達	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

第11回	○3法令における領域「言葉」	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第12回	○言葉に対する特別な配慮を要する子どもへの対応	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第13回	○言葉に対する感覚を豊かにする保育	
	【予習】言葉遊びにはどのようなものがあるか調べておく。	30分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分
第14回	○言葉に対する感覚を豊かにする保育教材とは	
	【予習】	0分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	90分
第15回	○学びのまとめ	
	【予習】確認テストの準備をする。	90分
	【復習】授業で配布されたプリントを見直し、要点をまとめる。	30分

授業科目名	子どもと音楽表現			科目コード	C133-60				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容	担当教員名	難波 純子						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	音楽表現技術、保育内容総論	後継科目	保育内容(音楽表現)指導法						
関連科目	子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許状、保育士資格								
授業の概要	領域「表現」の指導に関する、子どもの表現活動を豊かに展開するために必要な知識や技術を習得することを目的とする。様々な表現活動を結びつける教材研究や、表現体験を取り入れることによって、子どもの遊びやイメージを豊かにし、感性を養うための環境構成と保育の展開について学ぶ。								
学習目標	子どもの「表現の芽ばえ」を発見し、表現を読み取りより豊かな表現の育ちを支えられるよう自らの創造性、感性、表現力を磨く。また、音楽表現を軸として、子どもの興味や関心に沿った教材や、環境構成と保育の展開方法を習得する。								
キーワード	子どもの表現 表現の芽生え								
テキスト・ 参考書等	文部科学省『幼稚園教育要領解説』フレーベル館 厚生労働省『保育所保育指針解説』フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育における領域「表現」のねらい及び内容について理解している。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現ができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】音楽表現活動や統合的な表現の意義について考え、感性や想像力を働かせたうえで、創造的な音楽表現活動を考えることができる。また、人前で表現力を発揮することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽表現に関心をもち、演習や発表などに主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの演習などに積極的に参加し、他者とコミュニケーションを図ることができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50		50				100
LO-1			50						50
LO-2					20				20
LO-3					10				10
LO-4					10				10
LO-5					10				10
備考	右記のアクティブラーニングを3分の1以上の授業で実施します:グループワーク、フィールドワーク レポートはコメントして返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	
	【予習】15回分のシラバスを読み、この授業の内容について理解する。	30分
	【復習】シラバスを読み返して、授業の全体像をつかむ。	20分
第2回	「表現するとは何か」について理解する。 保育所保育指針1歳以上3歳未満児の領域「表現」のねらいと内容について理解を深める。	
	【予習】保育所保育指針、幼稚園教育要領の領域「表現」の部分に目を通しておく。	30分
	【復習】保育所保育指針、幼稚園教育要領を読み返しておく。	30分
第3回	音を感じよう！音リスト作成	
	【予習】生活の中で身近な音に耳を澄ませる。	20分
	【復習】生活の中で身近な音に耳を澄ませる。	20分
第4回	0,1,2歳児向けの手遊びについて知る。 さまざまな手遊びを体験し、自分一人でも人前で披露できるようにする。	
	【予習】0,1,2歳児向けの手遊びにはどのようなものがあるか、本やインターネットの動画などで調べておく。	30分
	【復習】0,1,2歳児向けの手遊びを人前でもできるように、友人や家族の前で披露する。	20分
第5回	保育実習 -1で見てきた子どもの姿について、領域「表現」のねらい、内容と照らし合わせてレポートを作成する。	
	【予習】実習で見てきた子どもの姿について、自身の実習記録を見返して、保育所保育指針と照らし合わせておく。	30分
	【復習】自分の実習記録を読み返して、子どもの姿について振り返る。	20分
第6回	「子どもを見る」 表現の芽ばえウォッチング 3歳以上児 事例紹介 探求	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの探求の意味について、振り返る。	20分
第7回	3歳以上児 事例紹介 模倣、即興歌	
	【予習】実習先の子どもたちが、生活や遊びの中でどのような表現活動を行っていたか振り返る。	30分
	【復習】子どもの模倣には、どのような意味があるのか振り返る。	60分
第8回	言葉と音楽表現（オノマトペ）	
	【予習】オノマトペを楽しめる子ども向けの絵本や楽曲を探しておく。	60分
	【復習】オノマトペを楽しめる絵本を声に出して読む。	20分
第9回	音・色・形を楽しめる絵本と表現	
	【予習】オノマトペを楽しめる子ども向けの絵本や楽曲を探しておく。	30分
	【復習】音・色・形を楽しめる絵本やオノマトペを用いた楽曲について振り返る。	20分
第10回	音の出るしくみ	
	【予習】ドラムサークルの楽しみ方について、ネットで調べておく。	30分
	【復習】	20分

第11回	ドラムサークルとは、新聞紙を使ってリズムあそびの実践	
	【予習】新聞紙を使って、どのような音を出せるか試してみる。	60分
	【復習】	30分
第12回	音で遊ぼう 音具を用いてドラムサークルを楽しむ。	
	【予習】自分たちが作った曲を再現できるようにしておく。	30分
	【復習】他の班や自分たちの発表を振り返る。	30分
第13回	保育の場における豊かな表現ができる環境とは	
	【予習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容を読み込んでおく。	30分
	【復習】幼稚園教育要領 領域「表現」ねらいと内容、内容の取扱いを理解し、読み返す。	30分
第14回	自分なりの表現とは 事例から学ぶ	
	【予習】これまでの授業を振り返り、レポート作成に取り組む。	30分
	【復習】	30分
第15回	総括「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」 後期試験レポート用紙（ワード）	
	【予習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、これまで学んだことをレポートとしてまとめる。	90分
	【復習】「子どもの表現において保育者として大切にすべきこと」について、振り返る。	30分

授業科目名	子どもと造形表現			科目コード	C133-70				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 保育内容		担当教員名	中山 里美					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	造形表現技術		後継科目	造形表現技術 保育内容(造形表現)指導法					
関連科目	音楽表現技術 音楽表現技術								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	造形作品の制作と鑑賞活動や五感を通じた総合的な表現活動に取り組み、体験を通して各自が楽しみながら題材の特性や意義を学びます。乳幼児の造形表現指導において、発達過程や特性を踏まえ保育者が行う援助の方法や在り方について考えていきます。								
学習目標	乳幼児の表現の姿や発達過程を理解する。造形表現の基礎的な知識・技能や様々な表現活動との関連性を学ぶことを通して、乳幼児の表現を支えるための感性を豊かにする								
キーワード	感性 想像 創造 製作活動 グループワーク 連携授業								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」 樋口一成 編著 萌文書林(継続使用) 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の造形表現における発達過程や特徴を理解する。造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現及び統合的な表現活動に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身に着けている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的・統合的な造形表現に必要な技能を身に着け、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動や統合的な表現の意義、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作をすることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形や統合的な表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、表現活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20	50		30			100
LO-1			10						10
LO-2				20					20
LO-3				20					20
LO-4			10	10		15			35
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業(グループワーク等)に取り組む姿勢、態度。 提出作品は評価した後、一部の作品は参考作品として展示し、相互鑑賞を行う。レポートは評価後、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 作品返却/席替え/自己紹介スケッチブック紹介	
	【予習】実演 0,1,2歳児を対象として、スケッチブックシアターを使って自己紹介の練習をする。 幼児向けの折紙(3・4・5歳児別)の折り紙を試作し、台紙に張る。	120分
	【復習】	50分
第2回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達過程(描画)	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	幼児の造形表現：発達と特徴 造形活動の発達過程(技能)	
	【予習】	0分
	【復習】発達過程まとめワークシート作成提出	40分
第4回	保育実習 - 1に向けて 教材制作 0,1,2歳児を対象とする手作り教材を制作する。	
	【予習】	0分
	【復習】実習に向けた実演練習をする。(スケッチブックシアター、手作り教材)	60分
第5回	鑑賞 美術館見学(富山県美術館) 2コマ	
	【予習】(企画展や美術館の役割と利用方法、作品鑑賞における心構え・マナーについて確認する)	15分
	【復習】	0分
第6回	鑑賞 美術館見学(富山県美術館) 2コマ	
	【予習】	0分
	【復習】作品鑑賞についてのレポートを作成する。 レポート提出	60分
第7回	素材と表現：自然素材を使って・季節の変化と材料 秋の自然に親しむ 作品提出	
	【予習】遊びや製作に使用する材料を屋外で収集する。	60分
	【復習】 作品提出：展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第8回	版画 スチレン版画 版の製作	
	【予習】身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】	0分
第9回	版画 スチレン版画・モノプリント 刷り 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】 作品提出：展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	30分
第10回	表現について考える：見えないものを描く 聴覚・味覚・嗅覚・触覚から感じたことを表現する。 作品提出	
	【予習】	0分
	【復習】振り返りワークシートに取り組む。	30分

第11回	表現について考える : 音をさがす グループ活動 さまざまな素材と関わりながら音を見つける ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】 音具に使いたい、材料を準備する。	30分
第12回	表現について考える 音を楽しむ音具・オブジェの製作 「音を楽しむ音具の製作」 材料との出会いと音の発見 音具は「子どもと音楽表現」授業で使用	
	【予習】 音具に使いたい、材料を準備する。	30分
	【復習】	0分
第13回	版画 スタンピング/ステンシル - /ローラー遊び (スタンプ作りとステンシル技法)	
	【予習】 身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	30分
	【復習】 作品提出 : 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。	20分
第14回	樹脂粘土 製作工程と技法、 テーマの決定と成形	
	【予習】 身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】	0分
第15回	樹脂粘土 グループ製作、作品鑑賞	
	【予習】 身の回りから、素材となるものを探す。 材料の準備	15分
	【復習】 展示された作品を相互鑑賞し、製作を振り返るとともにお互いの作品を評価し合う。 後期の授業を振り返り、レポートにまとめる。 レポート提出	30分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-10				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育		担当教員名	石動 瑞代 日光 恵利					
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、7年間の付属みどり野幼稚園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	1年前期	授業の方法	講義						
必修・選択	選択	単位数	2単位						
前提科目(知識)		後継科目	乳児保育						
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	乳児保育が社会と密接な関係にあることをふまえ、乳児保育の意義について学びます。また、乳児期の発達の特徴に応じた具体的保育方法や運営体制について考えます。基本的な乳児保育の技能の基礎となる知識・理論を身につけていきます。								
学習目標	乳児保育をめぐる社会状況を理解し、乳児保育の意義について理解する。 乳児期の発達の特徴を理解し、発達に応じた環境や保育方法について考えることができる。 乳児保育における職員間の連携・協働及び保護者や地域の関係機関との連携について理解する。								
キーワード	乳児 三歳児神話 生命の保持 情緒の安定 発育・発達を踏まえた保育 職員の連携								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『はじめて学ぶ 乳児保育』（同文書院） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編（フレーベル館）、『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳児期の発達の特徴について理解し、試験で正しく回答することができる。また、乳児の生活・遊びを支援するために必要な基礎的事項について説明できる。								
LO-2	【技能】 乳児の生活や遊びを支える教材を、適切に選択・活用する方法を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 乳児保育をめぐる社会状況をふまえて、乳児保育の意義を自らの視点で考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 乳児をめぐる研究知見や乳児向け用具等の把握に努め、乳児の発達支援技術の向上に努める。								
LO-5	【人間性・社会性】 乳児の主体性を尊重した保育援助や関わりを考えることができる。他者と協働しながら、遊びや生活の生活支援の方法を検討できる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	50	10	30			10			100
LO-1	40	10							50
LO-2			10						10
LO-3			10						10
LO-4	10		10						20
LO-5						10			10
備考	その他 A は授業態度(講義やグループワーク等への参加態度、課題シートの内容)とする。 授業内ではグループワークやディスカッション、赤ちゃん人形を使った演習等を行う。 提出課題に対しては、口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、定期試験は模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児とは何か オリエンテーション 本日の資料 質問 1	
	【予習】教科書の目次と内容に目を通しておく。	30分
	【復習】講義内容をまとめる。次回に向けて、乳児に関する話題を検索し、複数チェックアップしておく	120分
第2回	乳児保育の社会的役割 子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題、乳児保育の意義について 乳児の子育て家庭の課題を検索し、考えられる課題を発表する。	
	【予習】前回の講義で提示されたテーマについて、自分の意見をまとめる。	100分
	【復習】課題に対する現在の取り組み等、課題シートを完成させておく。	110分
第3回	乳児保育の社会的意義（発表とまとめ） 3組 1班 3組 2班	
	【予習】第2回の講義で示された課題を完成させておく。 教科書の認知機能の発達に関する部分を読んでおく。 3組 4班 3組 5班 3組 6班	60分
	【復習】乳児保育の社会的意義についてレポート作成する。 3組 7班 3組 8班 3組 9班	120分
第4回	3歳未満児の発達理解と保育 主に運動機能の発達と保育環境	
	【予習】教科書のLesson7を読んでおく	60分
	【復習】運動機能の発達のエポックを一覧表にしておく	120分
第5回	3歳未満児の発達理解と保育 主に認知機能の発達と保育環境	
	【予習】教科書のLesson 8を読んでおく	60分
	【復習】認知機能の発達のエポックを一覧表にしておく	120分
第6回	3歳未満児の生活と環境 安全な環境づくり、事故防止	
	【予習】教科書のLesson10を読んでおく	60分
	【復習】安全な環境づくりのポイントをまとめる。	120分
第7回	3歳未満児の生活と環境 赤ちゃん人形を使った演習	
	【予習】3歳未満児の発育や発達に合わせた支援について、資料等を再確認しておく。	60分
	【復習】授業内で実践したポイントをまとめる。課題シートを作成する。	120分
第8回	3歳未満児の生活と環境 排泄と食事	
	【予習】排泄及び食事に関する商品について調べてくる	90分
	【復習】3歳未満児の生活を支える用具や環境についてまとめる。	90分
第9回	3歳未満児の生活と環境 睡眠、着脱衣、衛生など	
	【予習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品について調べてくる。	90分
	【復習】3歳未満児の睡眠や衣類、衛生に関する商品についてまとめる	90分
第10回	3歳未満児の遊びと環境 人とのかかわりを基本とする遊び	
	【予習】人とのかかわりの発達について、確認する。	60分
	【復習】人とのかかわりを基本とする遊びのメニューを増やす（課題シート記入）	120分

第11回	3歳未満児の遊びと環境 自然とのかわり、保育環境	
	【予習】自然との関わり、保育環境が3歳未満児の発達に与える影響について調べてくる。	60分
	【復習】3歳未満児の発達を促す保育環境、自然環境についてまとめる。	120分
第12回	3歳未満児の遊びと環境 ものとのかわりを基本とする遊び（保育教材の活用など）	
	【予習】歌遊びや絵本など、3歳未満児にふさわしいと思われる教材を調べてくる。	60分
	【復習】3歳未満児の遊びを促す保育教材についてまとめる。	120分
第13回	3歳未満児の発達に応じた援助や関わりのポイント	
	【予習】グループで作成する課題シートにおける個々の分担部分を整理し、まとめてくる。	90分
	【復習】発達と生活・保育を関連付けて理解する。	90分
第14回	グループ発表 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮（絵本の読み聞かせにおける配慮） 3歳以上児への移行時期の配慮	
	【予習】これまでの学びをまとめる	90分
	【復習】子どもの発育・発達と生活や遊びとの関連を整理して理解する。 望ましい保育士の援助や配慮を再確認する。	90分
第15回	乳児保育の実際 保育者間の連携、保護者との連携 学び確認プリント	
	【予習】資料に目を通しておく。必要な援助をまとめる。	60分
	【復習】これまでの学びをまとめる。定期試験の準備学習をする	150分

授業科目名	乳児保育			科目コード	C135-11				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	石動 瑞代						
実務経験	児童相談所職員として、育児相談及び乳幼児の発達支援に携わった7年間の勤務経験をもとに、乳児期の育ちや保育方法、家庭支援等に関する知識を教授する。また、7年間の付属みどり野幼稚園長の経験を活かして解説する。								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	選択	単位数	1単位						
前提科目(知識)	乳児保育	後継科目							
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	実習での体験等を中心に、乳児保育における援助の目的や方法、保育者のあり方について、グループワーク中心に考察し、理解を深めていきます。また、親子関係や幼児期以降の発達にも目を向け、乳児保育をテーマ別に深く学んでいきます。								
学習目標	乳児保育の実際を理解する。 実際の保育場面に即した、乳児保育の関わりや方法、配慮について、考察することができる。 発達理論や保護者支援など、多面的な視点で乳児保育を考える。								
キーワード	認知発達と遊びの関係 応答的保育 親子関係 保育実践のふりかえり								
テキスト・ 参考書等	テキスト：『はじめて学ぶ 乳児保育』（同文書院） 『保育所保育指針解説』 厚生労働省編(フレーベル館) 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』内閣府・文部科学								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 幼児期を見通した乳児の発達を理論的に理解し、筆記試験で正しく回答することができる。								
LO-2	【技能】 乳児保育の知識をふまえ、発達に合わせた教材を製作することができる。乳児への応答的保育の内容を理解し、場面による具体的な応答方法や態度を習得する。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 実習経験と乳児保育に関する知識を関連付けて考察し、適切な保育内容・方法について自ら考えることができる。実習場面における自己を省察し、文章化して評価することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 「乳児の発達」「親子関係」の視点で、乳児期の保育をとらえ、必要な支援や留意点を考察するとともに、その方法を検討することができる。								
LO-5	【社会性・人間性】 自らの実習経験を他者に的確に伝えると同時に、他者の経験に耳を傾け、自らの学びにつなげようとする。他者と協働し、互いに学び合った内容を、わかりやすく発表する。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20	45	15	10	10			100
LO-1		20	10						30
LO-2			10	15					25
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5			5		10	10			25
備考	その他Aは、授業（グループワークやプレゼンテーション等への参加態度や課題シートの提出状況による）。アクティブラーニングの実施：グループワーク、プレゼンテーション、ディスカッションの実施 提出課題に対しては口頭及び紙面によるコメントを行う。小テストは返却、小テストは模範解答を示す。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	乳児保育の教材活用について	
	【予習】前期の授業をふまえて製作した教材の、利用方法をまとめ、発表の準備をする。	45分
	【復習】自分が製作した教材及びその活用法を評価する。他の学生の教材を見て学んだことを文章にまとめる。	30分
第2回	乳児保育の記録 乳児の姿をとらえる、 保育者の意図をとらえる	
	【予習】乳児保育 で学んだ知識及び実習関連の科目で学んだ「記録の方法」に関する知識を、確認しておく。これまでの実習記録で、保育者の意図を捉えた部分を確認しておく。	15分
	【復習】講義ノート（記録の視点）について、まとめる。	30分
第3回	乳児保育の記録 保育環境の構成 子どもの発達と保育者の援助	
	【予習】乳児の保育室の特徴についてまとめる。	20分
	【復習】他者の意見もふまえて、乳児の発達と物的・人的環境との関わりについて考える。	25分
第4回	乳児保育の記録 事例から発達や保育者の関わりのポイントを知る	
	【予習】課題プリントを完成する	20分
	【復習】教科書などで保育のポイントを確認しておく。	20分
第5回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（グループワーク）	
	【予習】3歳未満児実習で学んだ内容を、テーマごとにまとめる。	20分
	【復習】グループで話し合いを基にした、発表資料をつくる。	25分
第6回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表資料の作成）	
	【予習】グループ発表の準備をする。	30分
	【復習】自分のグループの発表準備を通して、新たに得た気づきをまとめる。	15分
第7回	乳児保育の実際 実習のふりかえり（発表準備） 課題説明	
	【予習】グループの発表資料完成及び発表内容の決定に向けて準備する。	15分
	【復習】実習で得た乳児保育についての学びをまとめる。	30分
第8回	乳児保育の実際 実習の振り返り（発表）	
	【予習】発表内容を自分の言葉でまとめておく。 課題シートの完成	15分
	【復習】他班の発表資料を確認し、学びを確認する。	30分
第9回	乳児保育の理念と実際 指針における応答性、保育者の応答性を確認する	
	【予習】これまでの発表資料や実習記録に目を通し、学びや疑問をまとめておく	20分
	【復習】応答性の性質と必要な条件について課題シートにまとめる	25分
第10回	乳児の発達と保育 発達理論と保育課題（ピアジェ）	
	【予習】参考資料及び発達心理学等の教科書で愛着について確認する。	40分
	【復習】授業内容をまとめておく	20分

第11回	乳児の発達と保育 発達理論と乳児保育 発達理論と保育課題（ヴィゴツキー）	
	【予習】教科書（基礎理論） 乳幼児期の心身の発達 3 人間関係の発達 を読んでおく。	15分
	【復習】試験にむけて講義の内容をノートにまとめる。	20分
第12回	特別講義 緊急時の避難法	
	【予習】実習での災害訓練などの訓練についてまとめておく	20分
	【復習】授業で得た学びに関する課題シートを記載する	25分
第13回	乳児保育における子どもの発達・親の発達 「愛着」「気質」「障がい」をめぐって	
	【予習】配付プリントを読んでおく。	15分
	【復習】小テストに向けて基礎用語の理解を行う。 親子をつなぐ遊びの概要と、紹介のポイントをまとめる。	30分
第14回	乳児保育における子供の発達・親の発達 小テストの実施 子どもの特性をふまえた保護者支援、親子をつなぐ遊びの実践	
	【予習】乳児保育における保護者支援について、自分の考えをまとめる 小テストの準備	30分
	【復習】課題レポートを作成する	100分
第15回	乳児保育における保育者のあり方、乳児保育で大切なこと（まとめ）	
	【予習】これまでのノートの内容を、確認する。 試験に向けて学びをまとめる。	20分
	【復習】期末課題を仕上げる。	60分

授業科目名	特別支援論			科目コード	C135-20				
科目区分	専門科目 - 保育の内容・方法 - 特別保育	担当教員名	明柴 聡史 金 仙玉						
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。児童虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、児童家庭福祉の現状と課題、児童福祉施設の機能と役割を理解で								
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	社会福祉、子ども家庭福祉	後継科目	特別支援論						
関連科目	社会的養護								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭2種免許								
授業の概要	特別支援教育を支える理念や制度、歴史の変遷を踏まえて、それぞれの障害の種類、原因、主な特性について理解し、特別の支援を必要とする子どもの理解と保育の在り方について考察する。インクルーシブ保育に必要な知識の習得を通して、保育者としての資質の向上を目指す。								
学習目標	1 特別支援教育を支える理念等について理解する。 2 障害に関する基礎知識を習得する。 3 特別の支援を必要とする子どもを含めた保育展開における環境設定の工夫や具体的配慮ができる実践力を身につける。								
キーワード	特別支援教育、特別な教育的ニーズ、インクルーシブ保育、特別支援学級、通級による指導、個別の教育支援計画、保護者支援、障害の受容、視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、言語障害、情緒障害、発達障害、自閉症スペクトラム								
テキスト・ 参考書等	立花直樹・中村明美・松井剛太・井上和久編著 「障害児の保育・福祉と特別支援教育」 ミネルヴァ書房								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	乳幼児期における様々な障害に関する基礎知識と特別支援教育を支える理念や制度等について理解を深め、それを説明することができる。								
LO-2	保育者として情熱をもち、特別の支援を必要とする子どもが保育所・幼稚園で豊かな園生活ができるように、保育を構想し、展開する技術を習得している。								
LO-3	特別の支援を必要とする子どもの保育をめぐる様々な問題について積極的に発見に努め、的確な対応のできる視座を有している。								
LO-4	特別の支援を必要とする子どもの保育に関する自己の学習課題を明確にし、課題解明のために継続的に学習に取り組み、保育実践力の向上に努める。								
LO-5	保育者と特別の支援を必要とする子ども、保育者と保護者、保育者同士などの関係において、豊かな人間関係が築かれるコミュニケーション技術と態度を身につけ、深い愛情と豊かな感性をもって子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			50			20	30		100
LO-1			10				5		15
LO-2			10			5	5		20
LO-3			10			5	10		25
LO-4			10			5	5		20
LO-5			10			5	5		20
備考	中間レポート20%、期末レポート30% その他のAは平常点(毎回の授業時の演習や小レポート及び受講態度等) Bは演習時の主体的参加や振り返りシートにより評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業のねらい、方法、評価等について説明) 特別支援教育を支える理念、障害の概念、障害児保育の歴史の変遷について	
	【予習】シラバスを読み、授業内容を把握する。 テキスト第1章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、障害の概念と歴史の変遷について整理する	90分
第2回	インクルーシブ保育 インクルーシブ保育という概念が生まれた経緯、インクルーシブ保育とは何か	
	【予習】テキスト第1章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育について整理する	90分
第3回	身体面の支援の必要な子どもの理解と援助 身体面の支援が必要な子ども理解、保育場面における援助等	
	【予習】テキスト第2章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、身体面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第4回	感覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 感覚について、感覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン4を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、感覚面の支援の必要な子どもに対する援助について整理する	90分
第5回	知的な面の支援の必要な子どもの理解と援助 知的障害のとらえ方、子どもの理解を助ける保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン5を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、知的な面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第6回	愛着・コミュニケーション面の支援の必要な子どもの理解と援助 愛着やコミュニケーションに課題のある子どもの理解と保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン6を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、愛着形成や言語・コミュニケーションについて整理する	90分
第7回	視覚面、聴覚面の支援の必要な子どもの理解と援助 視覚面、聴覚面の支援が必要な子どもの理解、保育現場における援助、専門機関との連携	
	【予習】視覚障害、聴覚障害について文献等を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、視覚障害、聴覚障害について学んだことを整理する	90分
第8回	行動面・学習面の支援の必要な子どもの理解と援助 ADHD、LDのある子どもの理解、疑似体験、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン7を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、疑似体験を通して学んだことを整理する	90分
第9回	情緒面の支援の必要な子どもの理解と援助 情緒面の支援が必要な子どもの理解、場面緘黙、保育現場における援助等	
	【予習】テキスト第2章 レッスン8を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、情緒面の支援の必要な子どもの援助について整理する	90分
第10回	個別の指導計画の作成、保育計画の実践と評価 個別の指導計画とは何か、作成手順、保育計画の実践、評価	
	【予習】テキスト第3章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、個別の指導計画の作成手順であるPDCAサイクルについて整理する	90分

第11回	特別の支援を必要とする子どもの内面の育ち 子どもの行動観察や保護者からの情報等によるアセスメント、目標設定、援助の実際	
	【予習】前回までの授業内容を確認する	90分
	【復習】授業内容を確認し、整理する	90分
第12回	子どもの発達を促す生活や遊びの環境 子どもが分かりやすく居心地のよい環境設定、保育の場、発達支援の技法等	
	【予習】テキスト第3章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、子どもにとって分かりやすく居心地がよい環境について整理する	90分
第13回	保護者や家族に対する理解と支援 特別の支援を必要とする子どもの保護者支援、障害受容、特別の支援を必要とする子どもを取り巻く家族の理解と支援	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、保護者の障害受容に関する文献を読む	90分
第14回	地域の専門機関等との連携と小学校等との連携 地域の関係機関との連携、連携の実際、小学校との連携、引継ぎ書の作成	
	【予習】テキスト第4章を読む	90分
	【復習】授業内容を確認し、専門機関等や小学校等との連携について整理する	90分
第15回	特別の支援を必要とする子どもをめぐる法整備、わが国のインクルーシブ保育の課題と展望 授業のまとめ	
	【予習】テキスト第4章を読む これまでの学習内容を確認し、まとめる。	90分
	【復習】授業内容を確認し、インクルーシブ保育の課題と展望について整理する 自らの学習達成度を評価し、理解の不十分なところは再度学習する。	90分

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 玉井 恵子 櫻井 桂子 平野 遥夏						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)	後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講						
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。 アクティブラーニングの実施:グループワーク等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	おはながわらった オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明) アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】シラバスを読み、授業内容(練習曲)を把握する。 L: ぶんぶんぶん	10分
	【復習】ぶんぶんぶん楽譜 授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	スマホ、PC両方からアクセスOK YouTube おうちでピアノレッスン	
	【予習】ちょうちょう楽譜 L: ちょうちょう	30分
	【復習】L: ぶんぶんぶん	20分
第3回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちょうちょう1 ちょうちょう2	
	【予習】L: メリーさんの羊	30分
	【復習】L: ちょうちょう	20分
第4回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 メリーさんの羊1 メリーさんの羊2	
	【予習】L: きらきらぼし	30分
	【復習】L: メリーさんの羊	20分
第5回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 きらきらぼし1 きらきらぼし・3拍子	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L: きらきらぼし	20分
第6回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】 L: ちゅうりっぷ	30分
	【復習】 L: これまでに演習したことを確認する	20分
第7回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ちゅうりっぷ(プリントの楽譜)	
	【予習】 L: ぞうさん	30分
	【復習】 L: ちゅうりっぷ	20分
第8回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 ぞうさん(テキスト)	
	【予習】 L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】 L: ぞうさん	20分
第9回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: おつかいありさん(プリント)	30分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第10回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん(プリント)	
	【予習】L: おはながわらった(プリント)	30分
	【復習】L: おつかいありさん(プリント)	20分

第11回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おはながわらった(プリント)	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	30分
	【復習】L: おはながわらった(プリント)	20分
第12回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: おもいでアルバム(プリント)	30分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第13回	YouTubeおうちでピアノレッスン動画 おもいでアルバム(プリント)	
	【予習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
	【復習】L: おもいでアルバム	20分
第14回	L: これまでに演習したことを確認する	
	【予習】L: 実技発表に向け、課題曲を練習する。	20分
	【復習】L: これまでに演習したことを確認する	20分
第15回	まとめ L: 実技発表	
	【予習】これまでの演習内容を確認し、楽典(音楽の決まりごと)について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。	10分

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 玉井 恵子 櫻井 桂子 平野 遥夏					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)		後継科目	音楽表現技術、音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	歌唱や読譜(楽譜を読む)などの保育に必要な音楽表現の実技演習を中心として、音楽の楽しさにふれながら創造性を養い、保育者としての表現力を高める。子どもの表現を豊かに展開するために必要な音楽の基礎知識と基礎技術を培う。								
学習目標	毎週、ソルフェージュのテキストに沿って歌の課題に取り組み、音程やリズムなどを判断し、読譜力や歌唱力を高めることを目標とする。								
キーワード	ソルフェージュ 歌唱 読譜 器楽(ピアノ)								
テキスト・ 参考書等	テキスト:『こどものための音感ソルフェージュ』内藤雅子著 デプロMP 『新・幼児の音楽教育』井口太編 朝日出版社								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や楽器演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】音楽に関心をもち、歌唱の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「ソルフェージュ」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢(20%)、ソルフェージュ(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。 アクティブラーニングの実施:グループワーク等								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション(授業内容、目的、方法についての説明) アンケート調査を実施し、ピアノ等の未経験者と既経験者の習熟度別に、グループ分けをする。	
	【予習】おはながわらった楽譜 おはながわらった	10分
	【復習】授業の進め方や、自分のグループなど、全体像を確認する。	10分
第2回	おはながわらった楽譜 YouTube おうちでピアノレッスン動画 【予習】こいのぼり楽譜	30分
	L: こいのぼり テキストp.152	
	【復習】L: おはながわらった テキストp.139	20分
第3回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 こいのぼり 【予習】小鳥のうた楽譜	30分
	L: 小鳥のうた テキストp.152	
	【復習】L: こいのぼり テキストp.152	20分
第4回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 小鳥のうた 【予習】パスワード:Piano4	30分
	L: ぞうさん テキストp.161	
	【復習】L: 小鳥のうた テキストp.152	20分
第5回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 ぞうさん(テキスト) 【予習】L: にじのむこうに テキストp.176	30分
	【復習】L: ぞうさん テキストp.161	20分
第6回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 にじのむこうに 【予習】 L: しゃぼんだま テキストp.158	30分
	【復習】 L: にじのむこうに テキストp.176	20分
第7回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 しゃぼんだま 【予習】 L: うみ テキストp.135	30分
	【復習】 L: しゃぼんだま テキストp.158	20分
第8回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 うみ 【予習】 L: とんでったバナナ テキストp.170	30分
	【復習】 L: うみ テキストp.135	20分
第9回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 とんでったバナナ 【予習】 L: サッチャン テキストp.155	30分
	【復習】 L: とんでったバナナ テキストp.170	20分
第10回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 サッチャン 【予習】 L: たなばたさま テキストp.165	30分
	【復習】 L: サッチャン テキストp.155	20分

第11回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 たなばたさま	
	【予習】 L：かわいいかくれんぼ テキストp.149	30分
	【復習】 L：たなばたさま テキストp.165	20分
第12回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 かわいいかくれんぼ	
	【予習】 L：山の音楽家 テキストp.187	30分
	【復習】 L：かわいいかくれんぼ テキストp.149	20分
第13回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 山の音楽家	
	【予習】 L：おつかいありさん テキストp.141	20分
	【復習】 L：山の音楽家 テキストp.187	20分
第14回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 おつかいありさん	
	【予習】 L：犬のおまわりさん テキストp.132	20分
	【復習】 L：おつかいありさん テキストp.141	20分
第15回	YouTube おうちでピアノレッスン動画 犬のおまわりさん	
	【予習】 これまでの演習内容を確認し、楽典（音楽の決まりごと）について再度学習し、今後の器楽演奏にもつなげていくため、理解を深めておく。	15分
	【復習】 S：自らの理解度・達成度を評価し、不十分なところは再度学習し理解を深めておく。 L：犬のおまわりさん テキストp.132	10分

授業科目名	音楽表現技術 (Aグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現		担当教員名	難波 純子 玉井 恵子 櫻井 桂子 平野 遥夏					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術		後継科目	音楽表現特講					
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します (20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 山の音楽家 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 山の音楽家 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】 山の音楽家 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 おかあさん やきいもグーチャーパー	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャンのうた テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライスのうた テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャンのうた 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース 線路はつづくよどこまでも	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 ゴリラのうた ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分

第11回	【歌あそび】 こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第12回	【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第13回	【歌あそび】 まめまき 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	60分
	【復習】これまでに習った曲を全て振り返る	90分
第14回	【歌あそび】 演習したことを振り返る 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分
第15回	まとめ(実技発表テスト)	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分

授業科目名	音楽表現技術 (Bグループ)			科目コード	C141-11				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 音楽表現	担当教員名	難波 純子 玉井 恵子 櫻井 桂子 平野 遥夏						
実務経験									
開講時期	1年後期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)	楽典(音楽の決まりごと)、音楽表現技術	後継科目	音楽表現特講						
関連科目	子どもと音楽表現、保育内容(音楽表現)指導法								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	「歌あそび」と器楽(ピアノ等)・幼児の歌を1時間ずつ演習します。器楽・幼児の歌においては2つのグループ(A・B)で、それぞれの経験に合わせた学習を行います。さらに保育に必要な音楽基礎技能を、音楽の楽しさにふれながら高めます。器楽・幼児の歌(1時間)は前期同様の形態で行い、さらに内容を深めます。								
学習目標	毎週幼児の歌の課題を練習し、歌唱やピアノなどの音楽表現能力を高めます。また幅広い音楽体験により、多様な表現力を養うことを目標とします。								
キーワード	歌あそび 器楽(ピアノ) 幼児の歌								
テキスト・ 参考書等	テキスト 井口 太 編「新・幼児の音楽教育」朝日出版社(2014) テキスト 小林 美実 編「音楽リズム」東京書籍(1984)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】歌唱や器楽(ピアノ)演奏をするために必要不可欠な楽典(音楽の決まり)を理解し、楽譜を読むことができる。								
LO-2	【技能】創意工夫を生かした音楽表現をするために、音符を正しく読みとる基礎技能を身につけ、正確な音程で表情豊かに歌うことができる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】楽譜から音楽を形づくっている要素を知覚し、音程・リズム・音型の判断をしながら、歌唱や器楽(ピアノ)演奏につなげることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】幼児の歌に関心をもち、歌唱や器楽(ピアノ)の学習に主体的に取り組もうとする。								
LO-5	【人間性・社会性】グループやペアでの合唱や演奏、歌あそびの発表などに積極的に参加し、他者との関係づくりができる。								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)					80	20			100
LO-1					20				20
LO-2					20				20
LO-3					20				20
LO-4						20			20
LO-5					20				20
備考	この科目は、前期同様、90分1コマの授業を45分ずつに分け、「歌あそび・手あそび」と「器楽(ピアノ等)」・「幼児の歌」のそれぞれを演習します。従って、クラスを半分の人数に分けて前半・後半と入れ替えて実施します。評価については、平素の授業に取り組む姿勢 表のAに該当します (20%)、歌あそび(40%)、器楽・幼児の歌(40%)とし、総合的に評価します。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	1年前期の音楽表現技術 での学習をふまえ、後期の授業の目的や内容を説明します。	
	【予習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68	30分
	【復習】シラバスを読み、授業内容(課題曲)をテキスト(楽譜)と照らし合わせて把握する。	60分
第2回	【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68 こおろぎ テキスト p.153 p.111	
	【予習】【歌あそび】 山の音楽家 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53	20分
	【復習】【歌あそび】 とんぼのめがね テキスト p.172 p.100 【器楽・幼児の歌】 先生とおともだち テキスト p.68、こおろぎ テキスト p.153 p.111	20分
第3回	【歌あそび】 山の音楽家 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	
	【予習】【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	20分
	【復習】【歌あそび】 山の音楽家 【器楽・幼児の歌】 もりのくまさん テキスト p.186-187 p.52-53 まつぼっくり テキスト p.182 p.114	20分
第4回	【歌あそび】 おおきなたいこ テキスト p.135 p.31 【器楽・幼児の歌】 山のワルツ テキスト p.188 夕やけこやけ テキスト p.191	
	【予習】【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第5回	【歌あそび】 いもほりのうた テキスト p.106 【器楽・幼児の歌】 おかあさん やきいもグーチャー	
	【予習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第6回	【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマンのうた おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 ふしぎなポケット テキスト p.180 p.48 【器楽・幼児の歌】	20分
第7回	【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマン <u>のうた</u> おおきなうた	
	【予習】【歌あそび】 コンコンクシャン <u>のうた</u> テキスト p.126 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	20分
	【復習】【歌あそび】 カレーライス <u>のうた</u> テキスト p.147 【器楽・幼児の歌】 ガンバリマン <u>のうた</u> おおきなうた	20分
第8回	【歌あそび】 コンコンクシャン <u>のうた</u> 【器楽・幼児の歌】 やぎさんゆうびん せかいじゅうのこどもたちが	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第9回	【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ 【器楽・幼児の歌】 あわてんぼうのサンタクロース 線路はつづくよどこまでも	
	【予習】【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 おもちゃのチャチャチャ テキスト p.143 【器楽・幼児の歌】	20分
第10回	【歌あそび】 バスごっこ テキスト p.46 【器楽・幼児の歌】 ゴリラ <u>のうた</u> ジングルベル	
	【予習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分

第11回	【歌あそび】 こぶためきつねこ 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第12回	【歌あそび】 そうだったらいいのにな 【器楽・幼児の歌】 アイアイ ゆきのペンキやさん	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	20分
	【復習】【歌あそび】 【器楽・幼児の歌】	20分
第13回	【歌あそび】 まめまき 【器楽・幼児の歌】 手のひらを太陽に おもいでアルバム	
	【予習】【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	60分
	【復習】これまでに習った曲を全て振り返る	90分
第14回	【歌あそび】 演習したことを振り返る 【器楽・幼児の歌】 1年生になったら さよならぼくたちのほいくえん	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分
第15回	まとめ(実技発表テスト)	
	【予習】今までに演習したことを振り返る	90分
	【復習】今までに演習したことを振り返る	90分

授業科目名	造形表現技術			科目コード	C143-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 造形表現	担当教員名	中山 里美						
実務経験									
開講時期	1年前期	授業の方法	演習						
必修・選択	必修	単位数	1単位						
前提科目(知識)		後継科目	造形表現技術 子どもと造形表現 保育内容(造形表現)指導法 子どもと遊び						
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	乳幼児における造形表現の特性やねらいを知るため、実技演習を中心に行い、表現することや創造することの価値を察知し、基本的な知識と豊かな感覚や技術を身につけます。材料の特性を生かした多面的な製作活動に取り組み、保育現場における「表現者」「鑑賞者」「援助者」としての心構えや在り方を学びます。								
学習目標	乳幼児の造形表現活動を豊かに展開するために必要となる、基礎的な知識や技術を実践的に習得する。造形表現活動に適した、用具及び素材や教材等の特性を理解し、それらの活用や作成に必要な知識や技術を身に付ける。								
キーワード	表現 感性 想像 創造 グループワーク								
テキスト・ 参考書等	「幼児造形の基礎」樋口一成 編著 萌文書林 文部科学省「幼稚園教育要領」 厚生労働省「保育所保育指針」 内閣府・文部科学省・厚生労働省「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児における造形表現の意義や活動のねらいと内容について理解する。造形表現に関する基礎的な用語や材料・用具、技法などに関する知識を身につけている。								
LO-2	【技能】素材の特性や用具の扱い方を知り、創造的な造形表現に必要な技能を身につけ、材料や技法などの表現方法を工夫して表す。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】造形表現活動の意義や、作品の良さや美しさを感じ取り、感性や想像力を働かせ、創造的な表現活動や製作を考えることができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】造形表現活動や鑑賞に主体的に取り組み、作品を大切にするとともに、活動の楽しさや喜びを味わう。								
LO-5	【人間性・社会性】作品鑑賞やグループでの活動や製作等に意欲的に参加し、各々の良さや美しさを尊重することができる。								
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			15	55		30			100
LO-1			5	15					20
LO-2			5	15					20
LO-3			5	15					20
LO-4				10		15			25
LO-5						15			15
備考	評価方法：提出課題レポートにはワークシートを含む。その他の項目「A」は、授業に取り組む姿勢、態度。提出作品は評価した後、一部の作品は参考作品として展示し、相互鑑賞を行う。レポートは評価後、サイン・メッセージを入れて返却する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 造形表現の意義 材料や用具の扱い方について	
	【予習】教科書に目を通し、学習内容を大まかに把握する。	30分
	【復習】	0分
第2回	色彩と形体： 色と形、構成の基礎 色の三属性と分類 色や形の心理、調和、効果	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで色の属性や分類について確認する。色の視認性を効果的に表現した配色を考える。 ワークシート提出	30分
第3回	色彩と形体： 色水あそび ワークシート提出	
	【予習】	0分
	【復習】プリントで「造形遊び」のねらいや意義について確認する。	30分
第4回	素材の種類と特性 基底材（紙について） 描画材について	
	【予習】身近な描画材や紙に関する特性を調べる。	30分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。	30分
第5回	素材の種類と特性 描画材：紙であそぶ「絵具をあそぶ」 ワークシート提出	
	【予習】身近な描画材や紙に関する特性を調べる。	30分
	【復習】あそんだ内容を振り返りワークシートにまとめる。	30分
第6回	素材の種類と特性 製本：ことばで表す各ページから受け取った感じや感覚を言葉（オノマトペ）で書きこむ	
	【予習】	0分
	【復習】完成作品（絵本）・レポート提出。	50分
第7回	モダンテクニック にじみ・ぼかし・ローリング等	
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第8回	モダンテクニック スクラッチ・マーブリング等	
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第9回	モダンテクニック スパッタリング・ウォッシング・パブルペインティング等	
	【予習】資料を読み、使用する材料・用具と作り方を確認する。	20分
	【復習】	0分
第10回	モダンテクニック まとめ技法ノート作成 作品技法ノート提出	
	【予習】	0分
	【復習】作成したノートを相互鑑賞し製作を振り返るとともに、展示したお互いの作品を評価し合う。	40分

第11回	色・形・感触を楽しむ：小麦粉粘土と片栗粉のスライム作り	
	【予習】	0分
	【復習】 感触遊びの活動を振り返りレポートにまとめる。 振り返りシート提出	30分
第12回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めぐりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを知る。	
	【予習】	0分
	【復習】 紹介された仕掛けを参考にして、構想を考えておく。	40分
第13回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めぐりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みのアイデアスケッチをする。	
	【予習】	0分
	【復習】 自己紹介の画面構成やストーリーを下絵にまとめる。	40分
第14回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めぐりながら自己紹介できる仕掛けや仕組みを作る。	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	補助教材：自己紹介BOOKの制作 スケッチブックを利用し、めぐりながら自己紹介できる絵本を完成する。	
	【予習】	0分
	【復習】 夏期休業中に完成させて提出	230分

授業科目名	子どもの運動			科目コード	C145-10				
科目区分	専門科目 - 保育の表現技術 - 身体表現		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)	運動と健康		後継科目	子どもと健康、保育内容「健康」					
関連科目	健康スポーツ								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭2種免許 保育士資格								
授業の概要	保育に必要な運動の基礎技能を養います。また、さまざまな子どもの運動遊びの体験を通して、乳幼児期の運動遊びに関する専門的技能を身につけていきます。								
学習目標	運動遊びの企画、立案・実践・省察の流れを通して、子どもの運動遊びを行う時の援助の方法を学び理解することを目指します。集団援助を行う際に必要な技能を身に付けます。								
キーワード	運動発達 運動遊び 安全 基本の運動 バランス・移動・操作 アレンジ								
テキスト・ 参考書等	テキスト：「子どものやってみたいを育てるみやもっち体育」 宮本忠男著 クリエイトかもがわ、「子どもが育つ運動遊び」倉ほか みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】乳幼児の発育発達の特徴をふまえ、保育の場での運動遊びの援助のあり方や、幼児期における運動遊びの意義を理解する								
LO-2	【技能】子どもの心身の発育発達を保障し、基本的な運動を基に遊びを構想・展開する技術を身につけている。自らが基本的な運動動作を習得し、指導に活かすことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】乳幼児の発育発達を促す「運動遊び」について、運動発達段階に応じた身体活動や遊びの内容を考えたり、指導上の配慮について実践的に理解している。								
LO-4	【関心・意欲・態度】現代の子どもの育ちと子どもが育つ環境を的確に把握し、現状に応じた運動遊びのあり方についての考えを深め、実践にいかそうと努めている。								
LO-5	【人間性・社会性】ペアやグループでの活動に積極的に参加している。子どもへの愛情をもって安心安全を前提とした指導計画を企画・立案し、仲間と協同して運営することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	40		30	20			100
LO-1		5	20						25
LO-2			10		10	5			25
LO-3			10		10	5			25
LO-4		5			10				15
LO-5						10			10
備考	レポートは、課題に対する理解度および内容から総合的に判断。成果発表については、プログラムの企画運営と、プログラムへの積極的な参加及び集団援助技術を評価。ノート作成とその内容を含みます。 小テストはテキスト理論編より出題。LO5については、保育者として基本となる明るく生き生きとした態度での参加を重視。その他 A は、グループ活動への参加意欲や態度、ディスカッション時の発言などを評価。グループワーク、ディスカッション								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（授業計画、内容、評価、進め方など） グループ編成（運動の必要性について）	
	【予習】シラバスに目を通し、授業内容を把握する。	15分
	【復習】持ち物 レポート 評価方法について確認する。運動の必要性について自分の考えをまとめる。	15分
第2回	運動遊びの実践（1） 準備運動、ごっこ遊び	
	【予習】テキストP.20～24を読む。各グループで担当した内容を指導できるように練習する。	20分
	【復習】運動遊び（準備運動）の実践を振り返り、次回に活かすための検討しと整理。	20分
第3回	子どもにとっての運動遊び（1）	
	【予習】テキストP.2～4を読む。	20分
	【復習】子どもにとっての運動遊びについて、自分の考えを整理する。	20分
第4回	運動遊びの実践（2）フープを使った遊び 基本の動き	
	【予習】テキストP.34～35を読む。フープについての理解を深める。	20分
	【復習】運動遊びが実践できるように進め方や言葉かけを考える。フープ遊びの安全配慮について考える。	20分
第5回	子どもにとっての運動遊び（2）	
	【予習】テキストP.5～9、P.16～17を読む。	20分
	【復習】運動学の理論（動きの分析、動きの発生など）についてまとめ、理解を深める。	20分
第6回	運動遊びの実践（3）フープを使った遊び 縄跳び遊びへの展開方法について	
	【予習】フープと縄、各2種類（合計4種類）の運動遊びを準備する。	20分
	【復習】授業での内容を年齢別にアレンジする方法を考える。フープや縄遊びの安全の配慮について考える。	20分
第7回	子どもにとっての運動遊び（3）	
	【予習】テキストP.10～16を読む。	15分
	【復習】指導計画の立案、作成についてまとめる。運動遊びの実践のために、進め方や言葉かけ、年齢別によるアレンジ法を考える。	30分
第8回	運動遊びの実践（4）乳幼児期の動きの体験	
	【予習】乳幼児期の子どもの発育段階について確認する。	15分
	【復習】本時の体験から、乳幼児の立場に立った保育について考えをまとめる。	30分
第9回	運動遊びの実践（5）パラバルーンを使った運動の実践 基本の動きと創作活動	
	【予習】テキストP.60～70を読む。パラバルーンの基本操作を確認する。	15分
	【復習】パラバルーンを使った運動のねらいや期待される効果について整理する。	30分
第10回	運動遊びの実践（6）パラバルーンを使った運動の実践 創作活動（一連の動きにまとめて構成する。）	
	【予習】創作した内容を復習し、覚える。その他、動きのアイデアを考える。	15分
	【復習】演技の内容を記録して覚える。共通理解された演技内容、効果的な声かけや合図のタイミングを再度確認して覚える。	60分

第11回	運動遊びの実践(7)パラバルーンを使った運動の実践 パラバルーン演技の発表	
	【予習】演技の内容を再確認する。	20分
	【復習】他のグループや自らのグループの演技の良さ、改善点について、感想レポートにまとめて提出。	20分
第12回	運動遊びの実践(8)ACP(アクティブ・チャイルド・プログラム)と指導計画	
	【予習】ACPについて調べる。	20分
	【復習】自分が実践できそうなACPを整理してまとめる。	20分
第13回	運動遊びの実践(9)季節の遊び、雪遊び	
	【予習】雪遊びに必要な身支度、道具などを準備する。	20分
	【復習】雪遊びの意義と特徴についてまとめ、各年齢でどのような雪遊びが楽しめるのかを検討する。	20分
第14回	運動遊びの実践(10)季節の遊びを運動遊びにアレンジして行う	
	【予習】お正月の遊びを調べる。(羽子板、いろはかるたなど)準備できるものは準備して実践する。	20分
	【復習】遊び方、援助の仕方をまとめ、記録する。	20分
第15回	まとめ	
	【予習】これまでの遊びを振り返る。得意とする運動遊びを1つ準備する。	15分
	【復習】後期の内容を振り返り、現場での実践に役立てるために整理してまとめる。	60分

授業科目名	教育実習			科目コード	C151-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 教育実習		担当教員名	難波 純子 石動 瑞代 嶋野 珠生 四杉 昭康					
実務経験	幼稚園で9年、保育園で4年、幼稚園教諭及び保育士として勤めていた経験をもとに、幼稚園教諭二種免許状取得に必要な知識と技術を身につけられるよう、実践的な授業を展開する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	基礎演習 (知識)『幼稚園教育要領』		後継科目	教育実習、教育実習指導					
関連科目	専門科目の全て								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許状								
授業の概要	<p>本学付属みどり野幼稚園で実習を行う(ただし、学内で日誌や指導案の書き方等を学ぶ講義日もあり)。前期の授業時間では観察・参加実習を中心に、9月は指導案ありの参加実習を中心に実施する。観察・参加実習においては、実習後の幼稚園教員との反省会や、実習日誌での振り返りを通して子どもの内面を読み取り、環境の構成、保育のあり方などを学ぶ。さらに実習研究では、実習記録、指導案を実際に作成し検討することによって実践的な力を身につける。</p>								
学習目標	この実習では、付属幼稚園と本学科の教員との連携協力に基づく指導を通して、幼児の発達の特徴や、幼稚園教育のねらい・内容・方法、幼稚園の機能と社会的役割、教師の基本的な職務内容や役割についての基礎的理解を深める。								
キーワード	付属みどり野幼稚園 観察実習 参加実習 実習記録 指導案								
テキスト・ 参考書等	<p>幼児教育学科作成テキスト「教育実習 ハンドブック」、付属みどり野幼稚園作成資料「教育実習 実習資料」 開仁志編著『実習日誌の書き方』一藝社、開仁志編著『指導案大百科事典』一藝社</p>								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育の本質と目的を理解するとともに、保育の対象となる幼児の発達・生活・遊びについて理解している。								
LO-2	【技能】子どもの前に立って、分かりやすく話したり、手遊びをしたり表現する技術を身につけている。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】実習記録を丁寧に書くことによって論理的に考察し、自らを省察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】時間や規則を守り、基本的なマナーや言葉づかいができる。幼稚園での実習反省会では、積極的に担当教員に指導、助言を求める態度が身についている。								
LO-5	【人間性・社会性】グループで実習を行うので、適切なコミュニケーション技術と態度を身につけ、他者との協働を図ることができる。また、深い愛情と豊かな感受性・共感性をもって、子どもに対応することができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						20			20
LO-2						20			20
LO-3						20			20
LO-4						20			20
LO-5						20			20
備考	<p>幼稚園教員による実習評価80点と、本学科教員による実習日誌の評価20点の100点満点で評価します。</p> <p>右記のアクティブラーニングを半分以上の授業で実施します：実習</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	学科主催オリエンテーション	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	実習研究 記録の書き方を理解する	
	【予習】テキスト『実習日誌の書き方』を読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第3回	幼稚園主催オリエンテーション(副園長先生の講話)、園見学	
	【予習】教育実習 資料に目を通しておく。	30分
	【復習】	0分
第4回	観察実習(1)	
	【予習】体調を整え、実習初日の目標(めあて)をたてる。	20分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第5回	観察実習(2)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第6回	観察実習(3)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第7回	観察実習(4)	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第8回	参加実習(幼稚園)、学内演習	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第9回	参加実習(幼稚園)、学内演習	
	【予習】	0分
	【復習】実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。	120分
第10回	実習研究 参加実習の反省会	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	実習研究 指導案の書き方1	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第12回	実習研究 指導案の書き方2	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第13回	実習研究 指導案の書き方3	
	【予習】指導案のテキストを読んでおく。	30分
	【復習】	0分
第14回	【夏季休業中9月】参加実習（指導案あり） 連続4日間	
	【予習】	0分
	【復習】・実習日誌A3用紙1枚分をペン書きで仕上げる。1日1枚×4日分 ・指導案の考察欄に記入する。	500分
第15回	実習反省会 9月に実習した指導案を見直し、振り返りを行う。	
	【予習】指導案を見返しておく。	30分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習指導			科目コード	C152-10				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	中山 里美 明柴 聡史 塩見 一成 日光 恵利					
実務経験	(日光)保育士として公立保育所に7年間勤務した経験を生かし、保育所等の役割や保育士の職務を学ぶことの意義について授業の中で解説する。								
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	基礎演習		後継科目	保育実習指導					
関連科目	保育実習 - 1 保育実習 - 2								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	「保育実習 -1(保育所)」「保育実習 -2(施設)」の事前事後指導として行う。実習の意義や目標、実習内容、実習に臨む際の基本的な心構えや態度について学習する。実習前のオリエンテーション・特別講義などを通して、自己の実習課題を明らかにし、効果的に実習に取り組みようとする。実習後は、各自作成のレポートなどを中心に、実習の成果と課題を把握する。実習施設に対する理解を深めるために、特別講義も予定している。								
学習目標	実習の意義および目的と実習の方法を理解する 実習日誌の基本的な書き方を習得する 実習に対する心構えや態度を学び、習得する 実習を振り返り、実習内容や自らの課題の達成状況を把握し、今後の学習課題を明らかにする								
キーワード	保育所 幼保連携型認定こども園 児童福祉施設 保育士 実習課題 実習日誌 省察								
テキスト・ 参考書等	『実習日誌の書き方』開仁志編著 一藝社 『指導案大百科事典』開仁志編著 一藝社 『学外実習の手引き』 『保育所保育指針解説』厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】保育所や児童福祉施設の目的と概要、保育士の職務について理解している								
LO-2	【技能】保育所や児童福祉施設での実習に目標を持って取り組み、実習日誌を書くことができる								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】保育所や児童福祉施設をめぐる現代的な課題を論理的に考察できる								
LO-4	【関心・意欲・態度】実習施設と入所者、子どもを取り巻く環境に関心を持ち、援助の方法を習得する								
LO-5	【人間性・社会性】実習に対する心構えや態度を習得する								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			80			20			100
LO-1			16			4			20
LO-2			16			4			20
LO-3			16			4			20
LO-4			16			4			20
LO-5			16			4			20
備考	この科目を履修しなければ、保育実習 -1及び -2を受けることはできない。 「保育実習指導」2単位は、「保育実習 -1」および「保育実習 -2」の単位取得と関連している。成績評価は、保育実習 -1(50%)、保育実習 -2(50%)の各レポート及び提出物により評価する。 (評価は、2年前期の成績に記載)グループワーク、フィールドワーク(施設見学)、実習、ディスカッションなどのアクティ								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 2年間の実習の流れと保育実習指導 の位置づけ	
	【予習】シラバスを確認し、授業計画を把握しておく。	0分
	【復習】保育実習の概要を確認する	90分
第2回	保育所の一般的理解 ○富山県の保育所・認定こども園の現状	
	【予習】前回の授業内で配布された資料を復習する。 地域の保育施設を調べておく。	0分
	【復習】配布されたプリントと資料を整理する。	60分
第3回	○『保育所保育指針』の構造と内容	
	【予習】保育所保育指針を読み、保育士の役割や保育環境について関心をもつ。	0分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	60分
第4回	○実習日誌の基本的な構成とその内容(1) エピソード記録	
	【予習】『実習日誌の書き方』PP. 20-23を読んでおく。 教育実習 の日誌を1日分を持参する。	90分
	【復習】教育実習 の実習日誌(1日分)を手直しする。	90分
第5回	○保育所の生活とデイリープログラム	
	【予習】前回配布された資料を整理し、内容を見直す。	45分
	【復習】演習課題(3歳未満児のデイリープログラムにそって、保育士の仕事を書き出してみましょう。)	90分
第6回	○実習日誌の基本的な構成とその内容(2) 流れ記録	
	【予習】『実習日誌の書き方』から、未満児実習の流れ記録の例を探し、読んでおく。	45分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	90分
第7回	○児童福祉施設等での自主実習について ・実習の目的 ・自主実習の手続きと流れ	
	【予習】	0分
	【復習】・配布されたプリントを整理し、実習希望先と実施期間を検討する。 ・希望先に連絡し事前の内諾を得る。	90分
第8回	○保育所以外の児童福祉施設の一般的理解	
	【予習】児童福祉法第7条に記載のある保育所、幼保連携型認定こども園以外の施設について調べる。	0分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	90分
第9回	○富山県の児童福祉施設の現状	
	【予習】県内の児童福祉施設をWebで調査し、各施設の機能と役割について調べる。	0分
	【復習】配布されたプリントを整理し、理解を深める。	90分
第10回	○施設及び施設保育士の職務内容について	
	【予習】バスでの児童養護施設、障害者支援施設見学実習のためにWebサイトや文献などから理解を深めておくこと。	0分
	【復習】バスでの見学実習での観察や講義の内容を整理し、理解を深める。 見学後、下記の書式をダウンロードしレポート作成すること。提出は第10回目の課題 に8月23日17:00までにアップロードする。評価の割合は20%。	90分

第11回	○自主実習に参加するための事前学習 ・自主実習に向けて 内諾書依頼の書類を作成 ・実習中の注意事項、提出書類等の配布と確認	
	【予習】	0分
	【復習】自主実習の準備をする。	90分
第12回	○2年生との実習連絡会	
	【予習】実習配属園について調べ、まとめておく。 実習に関して先輩に質問したいことや、確認したいことをまとめておく。	0分
	【復習】2年生と話したこと、教えてもらったことを整理して記録に残す。	0分
第13回	○保育実習 - 1オリエンテーション(1)	
	【予習】学外実習の手引きを見直しておく。	0分
	【復習】配布された資料等を整理し、2つのバインダーに綴じる。	45分
第14回	○保育実習 - 1オリエンテーション(2)	
	【予習】前回までに配布された資料を見直して、まとめておく。 質問事項をまとめておく。	0分
	【復習】配布資料を整理してまとめ、必要な箇所を記入する。	0分
第15回	○保育実習 - 1事前報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】「事前報告書」「事前訪問・打ち合わせレポート」を作成しておく。	90分
	【復習】実習の目当て等記入し、実習書類を完成させる。	90分
第16回	○特別講義 「保育所保育の概要と実習生のあり方」富山市立福島保育所長 下村 寿美 先生	
	【予習】これまでの実習指導を振り返り、不明な点を把握しておく。	30分
	【復習】講義で配布された資料を見直し、理解を深める。	30分
第17回	○実習日誌、指導案について	
	【予習】実習日誌等で不明な点がないか確認する。	45分
	【復習】日誌の書き方を再度確認しておく。	45分
第18回	保育実習 - 1直前学修 書類等のチェック 日誌の書き方等の確認	
	【予習】実習関係書類が実習ファイルに綴じられていることを確認しておく。	30分
	【復習】準備した教材等を使うようにしておく。	45分
第19回	○保育実習 - 1振り返り 振り返りワークシート、レポート作成	
	【予習】実習日誌を読み直し、事後報告書を作成する。	60分
	【復習】レポートを完成させる。	45分
第20回	○保育実習 - 1事後報告(実習個別指導担当教員)	
	【予習】事後報告書の必要な手直しを行う。	45分
	【復習】実習レポート、実習日誌を整え提出する。	45分

第21回	○保育実習 -2オリエンテーション	
	【予習】県内の社会福祉施設についてWebにて調査を行う	0分
	【復習】県内の社会福祉施設、特に自信の住む市町村の施設のHPを見て研究する。	0分
第22回	○特別講義（1）児童養護施設 「要保護児童の支援と保育者の役割」ルンビニ園 黒田 恵美	
	【予習】児童養護施設の機能と役割、現状と課題について教科書やWEB等から調べる。	0分
	【復習】児童養護施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第23回	○学びの振り返り	
	【予習】児童養護施設についての予備知識と特別講義の内容から疑問をあげ、学生間で対話する準備をしておく。	0分
	【復習】児童養護施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第24回	○特別講義（2）障害者支援施設 「障害者支援と保育者の役割」施設保育士（生活支援員）	
	【予習】障害者支援施設の機能と役割、現状と課題について調査する。	0分
	【復習】障害者支援施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第25回	○学びの振り返り	
	【予習】障害者支援施設についての予備知識と特別講義の内容から疑問をあげ、学生間で対話する準備をしておく。	0分
	【復習】障害者支援施設の機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第26回	特別講義（3）福祉型児童発達支援センター 「障害児入所施設の機能と役割」 富山市恵光学園 澤井 愛海	
	【予習】福祉型児童発達支援センターの機能と役割、現状と課題について教科書やweb等から調査する。	0分
	【復習】福祉型児童発達支援センターの機能と役割、現状と課題についてまとめる。特別講義の内容についてレポートにまとめる。	0分
第27回	○学びの振り返り	
	【予習】福祉型児童発達支援センターについての予備知識と特別講義の内容から疑問をあげ、学生間で対話する準備をしておく。	0分
	【復習】特別講義及び内容の振り返りを通じて、理解を深める。	0分
第28回	○保育実習 -2 事前指導（1） 2年生からのガイダンス	
	【予習】2年生への実習に向けての質問を考えておく。	0分
	【復習】2年生から聞いた内容をまとめ、実習に向けて準備をする。	0分
第29回	○保育実習 -2 事前指導（2） 配布物等確認、諸連絡	
	【予習】実習ファイルを整理し、実習に向けた準備を行う。健康チェックを開始する。	0分
	【復習】配布物を整理し、必要書類を準備する。	0分
第30回	○保育実習 -2 事前報告（実習個別指導担当教員）	
	【予習】事前報告書と実習計画書を作成する。	0分
	【復習】実習目標に向けた自己課題を明確にする。 レクリエーションが求められている学生は指導案等準備する。	0分

授業科目名	保育実習 -1			科目コード	C152-11				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	日光 恵利 中山 里美					
実務経験	保育士として保育所での実務経験あり								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)			後継科目	保育実習 保育実習指導					
関連科目	保育実習指導								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	保育所における3歳未満児を対象とした10日間の保育所実習である。 3歳未満児の発達の特徴や保育の内容、方法、保育所の機能と社会的役割、保育所保育士の基本的職務内容等について実践的に理解する。								
学習目標	保育所の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 保育所における3歳未満児の生活の様子や発達の姿について具体的な理解を深めると共に、必要な養護や教育の基本的内容について実践的に理解する。 保育士の基本的な職務内容や役割について現場保育者からの指導を受けると共に、観察や助手的な経験を通して自ら修得								
キーワード	保育所 保育士 3歳未満児								
テキスト・ 参考書等	『保育所保育指針解説書』 厚生労働省編 フレーベル館 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 乳幼児の発達と生活、遊びに関する基本的な知識を有している。								
LO-2	【技能】 乳幼児と親和的に関わることができる。また、乳幼児の発達や興味関心を考慮して環境構成や保健・安全面に配慮した保育が行える。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 個々の乳幼児の具体的な理解を基に、適切な援助の方法について考察し、実践する。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 自ら指導・助言を求め、積極的に実習に取り組む。								
LO-5	【人間性・社会性】 基本的なマナーを身につけ、正しい言葉づかいで会話や記録ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10	5		15
LO-2						10	5		15
LO-3						20	5		25
LO-4						20	5		25
LO-5						20			20
備考	その他A：実習先の保育所(園)からの評価 その他B：実習日誌の評価								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第2回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第3回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第4回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第5回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第6回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第7回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第8回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第9回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第10回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

第11回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第12回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第13回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第14回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分
第15回	保育所(園)での、3歳未満児を対象とした実習	
	【予習】	0分
	【復習】	0分

授業科目名	保育実習 -2			科目コード	C152-12				
科目区分	専門科目 - 保育の実習 - 保育実習		担当教員名	明柴 聡史 塩見 一成					
実務経験	保育士、児童指導員として、社会福祉法人で13年間勤務。虐待等により入所する社会的養護の対象となる児童や障害のある児童の支援、保護者支援、里親支援の経験をもとに、実習生指導担当として、学生が保育所の役割を理解できるように指導								
開講時期	1年後期		授業の方法	実習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	保育実習指導		後継科目	保育実習					
関連科目	社会福祉 児童家庭福祉 社会的養護 社会的養護内容								
資格等 取得との関連	保育士資格								
授業の概要	児童福祉施設及び障害者支援施設等での10日間の実習に加えて、事前・事後学習を行う。								
学習目標	施設の目的及び機能等について、実地の体験を通して理解する。 入所児(者)の生活と発達等について、個別的及び集団的関わりを通して理解する。 保育士等の役割及び職務内容、他の職員とのチームワークとうについて体験的に理解する。								
キーワード	参加実習 実習日誌 施設の社会的役割、施設保育士の業務内容								
テキスト・ 参考書等	施設実習パーフェクトガイド(わかば社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】対象児(者)発達と生活に関する基本的な知識を有している								
LO-2	【技能】対象児(者)に親和的にかかわり、環境設定や保健・安全面に配慮した支援が行える								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】個々の対象児(者)に対する具体的理解を深め、適切な援助の方法を考察することができる								
LO-4	【関心・意欲・態度】参加実習に主体的に取り組み、実習日誌に的確に記述できる								
LO-5	【人間性・社会性】時間や規則を守るとともに、マナーや正しい言葉づかいに心がけ、職員等と対応することができる								
評価方法/ LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						80	20		100
LO-1						10			10
LO-2						20			20
LO-3						20	10		30
LO-4						20	10		30
LO-5						10			10
備考	その他：(A)実習先施設による評価80% (B)学科教員による実習日誌の評価20% 社会福祉施設での実習による授業。授業後には、保育実習指導 でグループワーク、 ディスカッションを行うため現状と課題を整理しておくこと。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	初日オリエンテーション(学外の社会福祉施設での実習第1回～第15回)	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第2回	職員役割の理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第3回	一日の流れの理解	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第4回	職員のかかわりを観察し、自らも実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第5回	対象者を理解する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第6回	対象者を理解する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第7回	対象者に合わせた援助を実践する 中間反省会	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】前半の反省を行い、後半の課題を抽出する。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第8回	対象者に合わせた援助を実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第9回	対象者に合わせた援助を実践する	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第10回	多職種との連携について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分

第11回	多職種との連携について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第12回	関係機関との連携協働の実際について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第13回	関係機関との連携協働の実際について学ぶ	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第14回	責任実習として、レクリエーション等を計画し実践する。	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】責任実習の振り返り・評価考察をし、自己課題を明らかにする。 一日の振り返り、実習日誌の作成、翌日準備	0分
第15回	実習のまとめ、反省会・実習後協議	
	【予習】体調管理、実習準備、施設理解	0分
	【復習】一日の振り返り、実習日誌の作成、実習事後レポートの作成 今後の反省と課題の抽出	0分

授業科目名	運動と健康			科目コード	C515-11				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	健康スポーツ					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	講義を通して、運動と健康・体力の関連について理解を深めるとともに、高齢化の進展や生活習慣病の蔓延が著しい現代社会において、健康で豊かな生活を築き上げるために運動やスポーツの持つ意義や役割について考える。								
学習目標	現代社会の特徴を健康面から理解するとともに、個人の健康・体力づくりに適合した運動の理論や内容、動きの構造を理解し、具体的に示せるようにする。								
キーワード	健康・体力づくり、生活習慣病、動きの構造								
テキスト・ 参考書等	教科書・参考書：宮本忠男(2023)「子どものやってみたいを育てるみやもっち体育」(株)クリエイツかもがわ 参考図書：三木四郎(2005)「新しい体育授業の運動学」(株)明和出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】現代社会の特徴を踏まえ、健康・体力を維持するための運動やスポーツの必要性を理解するとともに、生活習慣病の予防に関する基礎的知識を身につけ、目的に応じた健康・体力づくりの理論と方法について把握している。								
LO-2	【技能】生涯にわたり健康・体力を自己管理する重要性を理解し、健康・体力づくりに必要な情報を適切に評価したうえで、自ら実践できる技能を身につける。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】現代的なスポーツや健康に関する問題を的確に捉え、身体活動・運動の視点からその実践的な解決方法を考察することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】健康や体力に関する諸課題を自分のこととして捉え、自ら改善策を生み出すとともに、自身のコンディションへの関心を高め、その維持・向上に取り組むことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】健康や体力に関する知識を協力・協働へとつなげ、グループでのディスカッションなど仲間と共に活動することで、社会性の向上に役立てることができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		50	50						100
LO-1		50	20						70
LO-2			5						5
LO-3			10						10
LO-4			10						10
LO-5			5						5
備考	毎授業後に、その時間のまとめレポートを作成する。 各々の授業では学びを深めるために、アクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。 小テストは最後の時間に実施する。 授業への参加態度を考慮して評価する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、健康と体力の概念、「身体を動かす」とは	
	【予習】シラバスを読み授業の流れと評価方法を調べる。	40分
	【復習】授業の評価方法を理解する。「身体を動かす」及び、「遊び」についての理解を深める。	60分
第2回	身体の動きを運動学的に分析する	
	【予習】教科書P.006～P.009を読んでおく。	60分
	【復習】現代の社会背景や国民の傷病の現状を確認する。現代における健康・体力づくりの意義について理解する。	60分
第3回	「健康」についての理解を深める 健康の定義とは	
	【予習】運動やスポーツが健康に及ぼす影響について調べる。	60分
	【復習】講義内容を踏まえ、運動やスポーツが健康に及ぼす影響について理解を深める。	60分
第4回	運動と発育発達 子どもの運動体力・運動能力	
	【予習】体力の向上について調べる。	60分
	【復習】体力の向上とは何を意味するのか。子どもの体力調査の変遷から現代の子どもの理解する。	60分
第5回	生活習慣病と運動	
	【予習】生活習慣病及び、現代の疾病について調べておく。	60分
	【復習】健康の維持増進に必要な内容をまとめる。	60分
第6回	栄養と基礎代謝	
	【予習】食事とダイエットについて調べておく。	60分
	【復習】健康に日々を送るための食事と運動について理解を深める。	60分
第7回	運動と健康 トレーニングの基本原則について	
	【予習】体力の向上について調べる。	60分
	【復習】体力が向上するとは、具体的に筋機能や呼吸循環機能がどのように変化するのかを理解する。	60分
第8回	健康に日々を送るために、これまでの講義を振り返る。 小テスト	
	【予習】これまでの講義を踏まえ、興味ある内容について考える。	90分
	【復習】運動と健康の小テスト及び期末レポート作成からこの講義を振り返り、新たな視点から学びを深化させる。	440分

授業科目名	健康スポーツ			科目コード	C515-12				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 健康・スポーツ		担当教員名	塩見 一成					
実務経験	中学校・高等学校で教員として29年勤務した経験から得た知見や技術を活かし、授業の中で保育者として必要な知識・技術を解説する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	実技					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目	運動と健康								
資格等 取得との関連	保育士資格、幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	健康スポーツとして、生涯にわたり身体を動かすことを楽しみ、より健康に生活できるようになるための運動を行う。ネット型・ゴール型ボールゲームを主に行う。またストレッチや自重トレーニングを実践し心地よさを感じるとともに心と体の調和をとることができるようなプログラムを実践する。ボールゲームにおいては、様々なゲームを楽しみながら技術を向上させるとともに、仲間づくりや自分の身体との対話も楽しめるような力を養う。								
学習目標	スポーツやそのほかの運動を通じて、上達する楽しさや体を動かす心地よさ、仲間づくりの大切さを感じられるようにする。スポーツや運動を授業だけではなく、人生の一部として、日常的な実践として根付かせたい。								
キーワード	心地よさ 仲間づくり ネット型スポーツ ゴール型スポーツ 身体を整える								
テキスト・ 参考書等	参考図書：「子どものやってみたいを育てるみやもち体育」 宮本忠男著 クリエイトかもがわ、 「子どもが育つ運動遊び」倉ほか みらい								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	健康が活動の土台であることを理解し、自ら健康の維持に努めようとする。身体への適切な負荷のかけ方や自身の身体への対話方法を見つけるように努める。								
LO-2	ボールや用具の使い方において基本的な技術を身につける。自分に合った運動強度を知りその能力向上に努める。								
LO-3	チームプレーでの課題を見出しその解決に努められるようにする。苦手な運動要素についてその課題を克服できるような方法を知る。								
LO-4	自分の身体を知り向上させることにより自己肯定感が高まる。ルールを守り仲間とともに活動することにより互いを認め合い粘り強く取り組めるようになる。								
LO-5	健全な友達関係を構築しそのほかの授業においても互いに尊重し合い活動できるようにする。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)						100			100
LO-1						15			15
LO-2						15			15
LO-3						20			20
LO-4						30			30
LO-5						20			20
備考	その他Aについて：LO1.5は、ミニツッパパー・レポートの提出及び活動の状況を見て総合的に判断する。LO3.4は、チームプレーでの勝敗や活動の主体性を見て判断する。LO2は、ラケットやボール操作技術、基礎的な運動についての能力向上の状態を見て評価する。LO4では、授業におけるルールの遵守についても評価する。グループワーク、ディスカッションなどのアクティブラーニングを半分以上の授業で実施する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 内容 評価 グループ分け 服装 シューズ 着替えなど	
	【予習】体育館の場所 ロッカー 更衣室 など場所を確認すること	25分
	【復習】授業の到達目標と評価方法を理解する	20分
第2回	身体の動きの確認と仲間づくり ネット型スポーツへの導入	
	【予習】運動の意義を理解し、主体的に学ぶ姿勢を整えるおく	25分
	【復習】運動内容を振り返り、次回に生かす点を確認する	20分
第3回	テニス 基本の打ち方 ゲームの進め方	
	【予習】テニスについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べておくこと	25分
	【復習】テニスの用語とルールについて、理解を深める	20分
第4回	テニス 基本の打ち方を練習する ゲームに活用できるようにする ゲームをする	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておくこと	25分
	【復習】テニスの用語やルールについて、理解を深める	20分
第5回	テニス ダブルスゲーム	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方について予習しておくこと	25分
	【復習】テニスの用語、ルールと様々なゲームの進め方について理解を深める	20分
第6回	バドミントン 基本の打ち方 ゲームの進め方	
	【予習】バドミントンについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べるおくこと	25分
	【復習】バドミントンについて興味を持ち、歴史やゲーム方法を調べるおくこと	20分
第7回	バドミントン 基本の打ち方を練習する ゲームに活用できるようにする ゲームをする	
	【予習】様々な打ち方とその方法を調べておくこと	25分
	【復習】バドミントンの用語やルールについて、理解を深める	20分
第8回	運動する時の動きの発生と分析について	
	【予習】人の動きを理解するために、基本的な動作を予習しておくこと	25分
	【復習】運動学の局面構造など、分析方法の理解を深める	20分
第9回	身体のコンディションチェック ストレッチ ヨガの実践	
	【予習】体力の要素について調べておくこと	25分
	【復習】ストレッチ、ヨガ、体力の要素について理解を深める	20分
第10回	バドミントン ダブルスゲーム	
	【予習】ダブルスのゲームの進め方について予習しておくこと	25分
	【復習】バドミントンのゲーム(シングルス・ダブルス)について理解を深める	20分

第11回	ネット型ボールゲーム バレーボールのアレンジゲームの実践	
	【予習】幅広い年齢層で楽しめるアレンジの方法について、調べておくこと	25分
	【復習】様々なアレンジの方法について理解を深める	20分
第12回	ゴール型ボールゲーム バスケットボール、サッカーの導入	
	【予習】ゴールインするまでのプロセスを考えておくこと	25分
	【復習】参加者全員が楽しめる方法について理解を深める	20分
第13回	ゴール型ボールゲーム バスケットボール、サッカーのアレンジ方法の実践	
	【予習】ゴールインするまでのプロセスを考えておくこと	25分
	【復習】参加者全員が楽しめるアレンジの方法について理解を深める	20分
第14回	レクリエーションスポーツの実践 熱中症対策のため大幅にプログラムを変更する必要がある	
	【予習】初めてペアを組むなど、気持ちの良い人との関わり方について考えておく	25分
	【復習】参加者全員が楽しめるスポーツの実施方法についての理解を深める	20分
第15回	レクリエーションニュースポーツの実践 熱中症対策のためプログラムを大幅に変更する必要がある	
	【予習】熱中症予防について考え、必要と思われるものを準備する。気温が高くても仲間と楽しめる2つの競技(種目)について用意しておくこと。	20分
	【復習】これからの健康の保持増進に繋げるために、生涯スポーツとして競技スポーツやレクリエーションスポーツとの関わり方を自分なりに整理してまとめる	25分

授業科目名	英語			科目コード	C531-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平 デイヴィッド・ホーズリー					
実務経験	公立中学校で教員として勤務した経験を生かし、各講義で英語運用能力の育成ができるよう指導を行う。								
開講時期	1年後期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目	英語					
関連科目									
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許、保育士資格								
授業の概要	<p>山田：保育や幼児教育、児童福祉に役立つ英語や異文化理解について学ぶ。保育者がさまざまな場面で使用する英語の表現を、リスニング、英会話活動、英文理解、英作文、発音練習など、様々な活動を通して学ぶ。</p> <p>Horsley：Every week students will have a different children's picture book written in English. During lessons the students will work on how to read these books to children with correct pronunciation and intonation. Students will also</p>								
学習目標	<p>山田：総合的な英語力の向上を目指す。主に保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる表現を学ぶ。</p> <p>Horsley：Students will learn how to read smoothly with correct pronunciation and intonation by studying a different children's picture book each week.</p> <p>(毎週いろいろな子供向けの絵本を学習することで、正しい発音とイントネーションでスムーズに読む方法を学びます。)</p>								
キーワード	保育の場面で使われる英語の語彙、会話表現、文章、作文、コミュニケーション、絵本、異文化理解								
テキスト・ 参考書等	[テキスト] 英語あそび101 三好真史(学陽書房) ¥2090(税込)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】 保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を習得している。								
LO-2	【技能】 保育、幼児教育、児童福祉の分野で使われる英語の語彙を使用できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】 習得した表現を場面に応じて使用することができる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】 保育・幼児教育の分野で使われる英語の語彙や表現に関心を持つことができる。								
LO-5									
評価方法 / LO(学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		55				45			100
LO-1		10							10
LO-2		15				5			20
LO-3		20				10			30
LO-4		10				30			40
LO-5									
備考	<p>【成績評価方法】</p> <p>山田：小テスト(25%程度)、授業への参加・課題の状況[その他、A](25%程度)とする。</p> <p>Horsley：Students grades will be based on class participation (20%), a final written test (20%), and a final oral test (10%).</p> <p>(成績は、授業への参加度(20%)、最終筆記テスト(20%)、最終口頭テスト(10%)に基づいて決定されます。)</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション、Childcare room 、英語あそび101(準備)	
	【予習】 英語あそび101の全体に目を通し、どんな活動があるのか見ておく。	30分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	20分
第2回	Childcare room 、英語あそび101	
	【予習】 海外と日本のChildcare roomの違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第3回	小テスト ・ミニプレゼン、Children's play 、英語あそび101	
	【予習】 幼児の頃好きだった遊びについて英語で説明できるようにしておく。	20分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	30分
第4回	Children's play 、英語あそび101	
	【予習】 海外と日本のChildren's playの違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第5回	小テスト ・ミニプレゼン、Food & snack 、英語あそび101	
	【予習】好きなsnackについて英語で説明できるようにしておく。	20分
	【復習】 授業で学んだ語彙を覚え、スラスラと発音できるようになっておく。	30分
第6回	Food & snack 、英語あそび101	
	【予習】 海外と日本の幼児におけるFood & snackの違いについて調べておく。	20分
	【復習】 授業で指定された内容のスライドをまとめ、発表の練習をしておく。	30分
第7回	小テスト ・ミニプレゼン、前半のまとめ、英語あそび101	
	【予習】 第1～6回の【Chime Reading】で読んだ内容について見直しを行う。	20分
	【復習】 第1～7回で学んだことの総復習を行う。	20分
第8回	Introduction to English as a rhythm based language: The importance of 'beat' as a fundamental element of speaking naturally. An introduction to 'linking' between English words based on consonant and vowel sounds. (リズムを基本とした言語としての英語入門: 自然な会話の基本要素としての「ビート」の重要性。子音と母音の音に基づいた英語の単語間の「つながり」の紹介。)	
	【予習】 None (なし)	0分
	【復習】 Review of ways of linking English words based on consonant and vowel sounds. (子音と母音の音に基づいて英語の単語をつなげる方法を復習する。)	15分
第9回	The Very Hungry Caterpillar Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンキングの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第10回	Brown Bear, Brown Bear, What Do You See? Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンキングの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分

第11回	Pooh's Honey Trouble Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンクの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第12回	Where's Spot? Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンクの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第13回	The Tiger Who Came to Tea Read the story and find all the linking types. Practice reading smoothly. Practice reading as if to a group of children. (物語を読んで、リンクの種類を見つける。スムーズに読む練習をし、子供たちの前で読むようにして活動をする。)	
	【予習】 Read the story in Japanese. Look up the vocabulary and expressions in the story in the Japanese-English dictionary. (ストーリーを日本語で読む。お話に出てくる語彙や表現を和英辞典で調べておく。)	30分
	【復習】 Review of vocabulary and expressions she/he learned in the lesson (授業で学んだ語彙や表現の復習)	15分
第14回	Review/Final test (復習・最終テスト)	
	【予習】 Review all the children's books you've studied. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	30分
	【復習】 Review all the children's books you've studied. (学んだすべてのおとぎ話の復習をする。)	15分
第15回	学習のまとめ	
	【予習】 第1～14回で学んだことの見直しを行う。	30分
	【復習】 第1～15回で学んだことの総復習を行う。	20分

授業科目名	基礎演習			科目コード	C551-10				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	四杉 昭康					
実務経験	公立小中学校で教員として38年間勤務した経験を生かし、幼稚園教諭や保育士等の養成に必要な知識や技能等について実践的に指導する。								
開講時期	1年前期		授業の方法	演習					
必修・選択	必修		単位数	1単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	自然と人間 コミュニケーションと情報 現代社会と人間								
資格等 取得との関連									
授業の概要	幼児教育学を学ぶために必要な力を、話す・聞く・読む・書く・調べる・考えるの6つの観点からとりあげ、その習得を目指す。								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びに必要な表現・コミュニケーションに関わる技能を身につける。 ・ 課題解決のための基本的な方法技術を身につける。 								
キーワード	学び スタディースキル 表現 コミュニケーション								
テキスト・ 参考書等	授業で用いるテキストはなし。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1									
LO-2	自身の考えをまとめ、他者に伝えるコミュニケーション能力を獲得できる。								
LO-3	保育に関わる課題を論理的にとらえ、的確に表現することができる。								
LO-4	文献、さらに他者と対話し、自身の考えを捉え直すことができる。								
LO-5	班別の協議、発表、作業において自らを表現し、他者との協働ができる。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)				20	60	20			100
LO-1									
LO-2				20					20
LO-3					30				30
LO-4					30				30
LO-5						20			20
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ その他Aはミニツツペーパーによる。 ・ 本演習の担当教員を含めた幼児教育学科の教員の指導によるゼミ（プレゼンテーション）を複数回おこなう。 ・ 5月頃に野鳥観察を実施する。学外研修ではコミュニケーションに関するワークを行う。 ・ レポート等はコメントの上返却する。 								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、聴くことと話すこと	
	【予習】シラバスを通読のこと。	10分
	【復習】「学ぶ」とはどのようなことか、自分の得意なことと苦手なことについてまとめる。	20分
第2回	インタビュー形式による聴き方・話し方、ゼミ活動について	
	【予習】配布資料を通読のこと。	10分
	【復習】自己紹介の内容を考えておく。	20分
第3回	野鳥観察の日の計画、絵本の特別講義の計画、PPT作成（絵本紹介）	
	【予習】野鳥観察、絵本の読み聞かせについて下調べしておく	20分
	【復習】感想をまとめておく。	20分
第4回	自己紹介・絵本紹介のためのPPT作成、お礼状の書き方	
	【予習】絵本紹介のPPT作成の構想を考えておく。	20分
	【復習】事前計画を基に準備を進める	30分
第5回	野鳥観察の日（5月16日）	
	【予習】配布資料を通読のこと。	20分
	【復習】野鳥観察のまとめ	20分
第6回	絵本の読み聞かせに関する特別講義	
	【予習】第1回ゼミに向けて、自分なりに絵本選びを進める	20分
	【復習】受講した感想をまとめる	20分
第7回	学外研修（国立立山青少年自然の家）でのゼミ活動	
	【予習】ゼミ活動を充実させる事前学習を行う。	20分
	【復習】ゼミ活動で学んだことを通してメンバーや教員との交流をさらに深める。	30分
第8回	文献紹介のためのPPT作成	
	【予習】文献選び	20分
	【復習】文献のはじめに、目次、終わりにを確認する。	20分
第9回	自己紹介・絵本紹介のためのPPT作成	
	【予習】絵本紹介の仕方（発表原稿や時間、伝え方）を考えておく。	30分
	【復習】絵本紹介のPPTの完成を目指す。	20分
第10回	第1回ゼミ（自己紹介・絵本紹介）	
	【予習】作成したPPTを使って紹介する練習をする。	30分
	【復習】レジュメを作成のこと。	20分

第11回	文献の調べ方 文献紹介のためのPPT作成	
	【予習】自身の興味のあるテーマを考えておく。	10分
	【復習】興味ある本を選んでおく。	30分
第12回	第2回ゼミ（文献紹介）	
	【予習】文献紹介の準備をする。	10分
	【復習】文献紹介の成果と課題を確認する。	30分
第13回	個人レポート発表会のためのPPT作成	
	【予習】レポート発表の仕方を考える。	10分
	【復習】レポート発表会に向けた準備をする。	30分
第14回	個人レポート発表会のためのPPT作成	
	【予習】レポート発表の仕方を考える。	30分
	【復習】レポート発表会に向けた準備をする。	30分
第15回	第3回ゼミ（個人レポート紹介）	
	【予習】レポート発表の練習をしておく。	60分
	【復習】発表会のまとめをする。	35分

授業科目名	国語表現			科目コード	C551-20				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	奥野 美友紀					
実務経験									
開講時期	1年後期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目	子どもと言葉 保育内容(言葉)指導法 子どもと音楽表現 子どもと造形表現								
資格等 取得との関連	幼稚園教諭二種免許 保育士資格								
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な言語活動の場面を想定し、それに即した実践的かつ総合的な表現能力を身につけるよう演習する。 班やグループ活動による相互評価・意見交換・共同作業を通して、コミュニケーションスキルの伸長を図る。 実践的な側面にとどまらず、創作等も行行うことで、保育現場での言語生活や子どもの言語発達をより深く理解するため 								
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの言語表現に寄り添い、その発達をうながすことができるよう、保育者自身の言語感覚を養う。 他者と協働していくための適切なコミュニケーションスキルを身につける。 客観的な視点をもって考え、自ら分析・判断することができる。 								
キーワード	言葉、言語・非言語、コミュニケーションスキル、論理的、思考力、自己評価・相互評価、リテラシー								
テキスト・ 参考書等	橋本修・安部朋世・福嶋健伸編著『大学生のための日本語トレーニング スキルアップ編』（三省堂、2008） この他、必要に応じて随時プリントを配布する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	<ul style="list-style-type: none"> ことば遊びや絵本の読み聞かせなどについての知識を持っている。 新聞や書物などに述べられている幼児教育・保育に関する課題に関心を持ち、把握することができる。 								
LO-2	<ul style="list-style-type: none"> 問題を分析的にとらえ、論理的にわかりやすく表現することができる。 社会人としてふさわしい言語表現のありかたについて習熟している。 								
LO-3	<ul style="list-style-type: none"> 言語表現について、論理的・客観的に読み取り（聞き取り）、書く（話す）ことができる。 場面や相手を意識した、適切な社会活動を行うことができる。 								
LO-4	<ul style="list-style-type: none"> 言語表現を通して、自己評価・相互評価をそれぞれ習慣づけるとともに、自らのありようや生きかたについて考えることができる。 								
LO-5	<ul style="list-style-type: none"> グループによる協議・発表・作業に積極的にかかわり、自らを表現すると同時に他者との協働を図ることができる。 社会生活における他者への共感性を身につけている。 								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		10	30	50		10			100
LO-1				10					10
LO-2		5	10	15					30
LO-3		5	10	15					30
LO-4			10	10		5			25
LO-5						5			5
備考	<p>授業では、グループワーク・ディスカッション・PBL（問題解決型授業）等のアクティブラーニングを取り入れる。「提出課題（レポート）」は、課題プリント等提出物を含む。「その他（A）」は、グループワークをはじめとする授業への参加態度。</p> <p>課題に対しては、授業中に口頭で説明したり、コメントを付けて返却する等のフィードバックを行う。</p>								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス この授業の概要と目的について。アンケート記入。 自己紹介。	
	【予習】シラバスを読み、授業の目的を理解する。 自分の言語生活を振り返り、この授業を通して特にどんなことができるようになりたいか、自分なりの達成目標を考える。	60分
	【復習】授業の全体像について振り返る。	30分
第2回	日本語の表記の基礎 書き言葉と話し言葉 文章作成の基礎となるルール（仮名遣い、表記法、句読点の打ち方 etc）について、ふりかえるとともに理解を深める。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】日本語表記のルールについて再確認し、プリントで間違えた箇所については、なぜ間違えたのかを理解したうえで習熟する。	60分
第3回	情報読書入門 教科書を用いて、探究学習やレポート作成の基礎となる俯瞰的・効率的な読書（情報収集）の方法を学ぶ。	
	【予習】いろいろな読書のしかたについて振り返っておく。	30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、情報読書に適した本を手にとってみる。	60分
第4回	敬語の基礎 敬語の分類とそれぞれの性格・はたらきについて学ぶ。	
	【予習】「日常生活の中で敬語をつかうことはあるか」「どのようなときに、どのような相手に対して敬語をつかうか」「なぜ敬語をつかうのか」など、敬語と自分の関わりについてまとめておく。	30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について、なぜそうなるのかを理解したうえで確認しておく。 課題プリントを仕上げる。	60分
第5回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について再確認しておく（小テストに向けての復習）。	90分
第6回	敬語の基礎 さまざまな場面における敬語とその用法について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について再確認しておく（小テストに向けての復習）。	120分
第7回	敬語小テスト メールの書き方 メール文の作成を通して、わかりやすく適切な表現とその工夫について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】授業の内容をふりかえり、間違いやすい点について確認しておく。	30分
第8回	メールの書き方 さまざまなコミュニケーションのあり方を知り、時と場合によって使い分けるとの重要性について学ぶ。	
	【予習】課題プリントを仕上げておく。	60分
	【復習】配布資料を確認し、授業の内容をふりかえっておく。	30分
第9回	情報読書入門 第3回に引き続き、探究学習やレポート作成の基礎となる、俯瞰的・効率的な読書（情報収集）の方法を学ぶ。	
	【予習】（情報読書 の内容を振り返っておく。	30分
	【復習】授業の内容をふりかえり、情報読書に適した本を手にとってみる。	60分
第10回	論理的に考える 社会生活の基礎となる、論理的な思考のしかたについて学ぶ。	
	【予習】配付資料を読み、課題に取り組んでおく。	60分
	【復習】課題プリントを完成させる。	60分

第11回	論理的に考える 情報を客観的に捉え、物事を多面的な視点から捉えることの重要性を学ぶ。また、意見や主張の根拠を吟味し、検証することに習熟する。	
	【予習】課題プリントを完成させる。	60分
	【復習】授業の内容を確認しておく。	30分
第12回	引用のルール 情報の収集と活用のかた（ルール）の基礎を学ぶ。「事実」と「意見」の見分け方・書き分け方について学ぶ。	
	【予習】出典（情報の引用元となる文献等）について情報収集し、準備する。	60分
	【復習】課題を完成させる。	60分
第13回	文章作成の基礎 論理の展開や効果的な文章の組み立て方について学ぶ。 テーマに即して、800字程度の文章を作成する（計画を立てる）。	
	【予習】今まで書いた文章について、それぞれの目的・性格・内容を振り返っておく。	30分
	【復習】ワークシートを点検し、テーマに沿った文章を作成する。	60分
第14回	文章作成の基礎 作成した文章をもとに、相互に添削・点検を行う。	
	【予習】テーマに沿った文章を作成する。	120分
	【復習】作成した文章について、相互批評をもとに再度推敲し、改稿のうえ完成させる。	90分
第15回	まとめ 学期末レポートの説明	
	【予習】全15回で学んだ内容をふりかえり、確認しておく。	30分
	【復習】全15回で学んだ内容をふまえ、学期末レポートを作成する。	150分

授業科目名	コミュニケーションと情報			科目コード	C551-30				
科目区分	教養科目 - 基礎演習		担当教員名	吉牟田 裕					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	必修		単位数	2単位					
前提科目(知識)				後継科目					
関連科目									
資格等 取得との関連	保育士, 幼稚園教諭二種免許								
授業の概要	情報システムの基礎について学ぶとともに、情報伝達や情報活用に関する技能を習得します。具体的には、ワープロや表計算、プレゼンテーションと、情報社会を生きるためのセキュリティの知識とモラルについても身につけることを目指します。								
学習目標	Windows、インターネット、オフィスツールの基本操作方法を習得するとともに、情報を取り扱ううえで必要なセキュリティと情報モラルを身につけます。								
キーワード	パソコン、ワープロ、表計算、プレゼンテーション、インターネット								
テキスト・ 参考書等	「イチからしっかり学ぶ! Office 基礎と情報モラル」noa出版								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	パソコン操作とセキュリティに関する基礎知識を身につける。								
LO-2	パソコンにより、効率的なドキュメント・スプレッドシートを作成し、プレゼンテーションをすることができる。								
LO-3									
LO-4									
LO-5									
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		20		60	20				100
LO-1		20							20
LO-2				60	20				80
LO-3									
LO-4									
LO-5									
備考	アクティブラーニングの実施：プレゼンテーション等 なお、課題に対しては、授業中に口頭で説明したり、コメントを付けて返却する等のフィードバックを行う。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業の進め方、学習の目標、 パソコン教室の使い方、タッチタイピング	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】タッチタイピングの練習 及第点「単語練習」の最高点×0.6で評価する。	90分
第2回	・教材ファイルのダウンロードと展開 ・Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第3回	Section2 Step2 Lesson1 チラシを作成しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習7	90分
第4回	練習7まで終了した人は、「教科書のオンライン教材」の練習問題を解いてみよう 教科書のオンライン教材 オンライン教材「実践ドリル」の「S2S2L1_実践ドリル01」～「S2S2L1_実践ドリル05」を解いてみよう。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第5回	練習7「クリスマスコンサート完成」を提出しましょう 右の「課題提出1」に提出してください。	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第6回	Section2 Step2 Lesson2 レポートに必要な機能を学びましょう(3)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】学んだ内容を復習する	90分
第7回	Section3 Step2 Lesson1/2 表を作成しましょう/印刷しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習9	90分
第8回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習13 練習14	90分
第9回	Section3 Step2 Lesson3 計算しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習16	90分
第10回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(1)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習17 練習18	90分

第11回	Section3 Step3 グラフを作成しましょう(2)	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習19 練習20	90分
第12回	Section4 Step2 Lesson1 スライドを作成しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習22	90分
第13回	Section4 Step2 Lesson2 効果をつけましょう Section4 Step3 発表しましょう	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習23	90分
第14回	練習 1 6 「飲み物完成」を提出しよう 右の課題提出 へ	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】練習25 練習26 練習27	90分
第15回	Section5 Step1 情報モラルを学びましょう 練習 2 3 「高齢社会対策効果完成」を提出しよう 右の課題提出 へ	
	【予習】教科書の該当部分を予習する	90分
	【復習】【復習】これまでの全体を復習する	90分

授業科目名	現代社会と人間			科目コード	X511-10				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系		担当教員名	大森 聡 石動 瑞代					
実務経験									
開講時期	1年前期		授業の方法	講義					
必修・選択	選択		単位数	1単位					
前提科目(知識)			後継科目						
関連科目									
資格等 取得との関連	なし								
授業の概要	各学科教員・外部講師が各回の講義を担当し、目的について共通理解を図りつつ、オムニバス形式で開講する。詳細は添付資料を参照のこと。 Webシラバスの毎回の授業アンケートへの入力をもって出席とします(当日18:30≒切)。未提出の場合は欠席扱いとなるので注意すること								
学習目標	本科目は、総合短期大学としての特色を最大限に活かし、現代社会と地域社会を深く理解するための幅広い視野と豊かな人間性を養うことを目的とする。「食と健康」「子どもと保育」「情報と経営」「高齢者の福祉」といった文理を横断するテーマを複合的にとらえ、学科の枠を越えて学ぶことで、地域課題を多面的に捉える力を習得する。継続的に学びを深めることで、地域社会の現状を自らの課題として捉え、改善に向けた具体的な提案を行う主体的な思考力と社会参画意識を育成す								
キーワード	文理融合 地域課題解決								
テキスト・ 参考書等	講師によっては、授業前に資料を配付する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための方法を身につけている。								
LO-2	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い視野と豊かな人間性を養うための技能を身につけている。								
LO-3	現代社会と地域を理解し、地域について自ら考えられる幅広い思考力・判断力・表現力を持ち、実践的な展開や課題解決することが出来る。								
LO-4	地域について自ら考えようとする意欲があり、実践的な展開や課題解決方法について主体的に学びを深めることが出来る。								
LO-5	地域社会の一員であることの自覚を持ち、他者を尊重し、協力・協働を図る人間性を有している。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)	60		40					100	
LO-1	12		8					20	
LO-2	12		8					20	
LO-3	12		8					20	
LO-4	12		8					20	
LO-5	12		8					20	
備考	毎回の振り返りアンケート(20%)、最終回のレポート(20%)、期末の筆記試験(60%)の内容を、LO1・LO2・LO3・LO4・LO5それぞれの観点で総合的に評価する。なお、追再試験は実施しない。 レポート課題について 年度等は現状に合わせて修正する。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	富山短期大学 学長 高木利久 オリエンテーション 第1回目を欠席した者はオリエンテーション資料を熟読の上、授業に参加すること。	
	【予習】講師に関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
第2回	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。 4/17(金)は休講です。	90分
	4/17(金)は休講です。第2回は4/24(金)に実施 外部講師 富山大学 都市デザイン学部 教授 久保田 善明	
第3回	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】授業外課題【身近な公園調査】 あなたの自宅の近くにある公園を1つ選び、現地調査をしましょう。(自宅近くでなくてもOKです) 入力〆切 5月7日(木)18:00	90分
第4回	経営情報学科 准教授 倉田 知秋 公園の役割-見る済みやすい街づくり:経済学とデータを利用した公園の課題解決 講義資料	
	【予習】タイトルに関連があると思われる新聞記事・雑誌等を読んでおく。 5月1日、15:00までのようですが、 TVerの「WBS(ワールドビジネスサテライト)4月23日放送分」10:00~17:44の部分で、関連のある情報が見られます。	90分
第5回	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
	幼児教育学科 講師 山田 尚平 経営情報学科 准教授 倉田 知秋 まとめ、新たな公園の提案(プレゼンテーションの作成)	
第6回	【予習】第2回、第3回の内容をまとめる。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。 本日のスライド	90分
第7回	外部講師 富山市角川介護予防センター 沖直哉 氏 『地域の高齢者の生活を支える(仮)』	
	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
第8回	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
	外部講師 調整中	
第9回	【予習】講師についてプロフィール等をしらべ、関連しそうな新聞記事・雑誌等を読んでおく。	90分
	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
第10回	食物栄養学科 教授 安嶋まなみ 健康福祉学科 准教授 小椋一也 まとめ、(プレゼンテーションの作成)	
	【予習】【予習】第5回、第6回の内容をまとめる。	90分
第11回	【復習】講義内容をまとめる。分からなかった単語等を辞書・書籍・インターネット等で調べる。	90分
	確認テスト レポート課題の作成 レポートの作成に必要なものを持参する。	
第12回	【予習】今までの講義内容を「振り返り授業アンケート」で復習し、疑問点や意見をまとめておく。	90分
	【復習】今までの講義内容の中の疑問や不明点は調査し、まとめてレポートとして仕上げる。 期末のレポートは課題1にアップロードする。	90分

授業科目名	人間と情報			科目コード	X511-14				
科目区分	教養科目 - 教養科目 - 人文科学系			担当教員名	春名 亮				
実務経験									
開講時期	1年前期			授業の方法	講義				
必修・選択	必修			単位数	2単位				
前提科目(知識)	「情報Ⅰ」(2025年3月以降に高校を卒業した入学生)			後継科目	情報処理演習 (食栄・健福) 医療・福祉とICT (健福)				
関連科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼教：コミュニケーションと情報 ・ 経情：ITリテラシー，デジタル技術概論，データ活用演習 								
資格等 取得との関連	本講義は「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」に関連し、修了者には「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」のリテラシーレベルの修得を証明する修了証を後期に配布する。								
授業の概要	「数理・データサイエンス・AI教育プログラム」におけるリテラシーレベルのモデルカリキュラムに従ってデータの利活用、そのために必要な人工知能(AI)に関する素養を理解させ、社会の課題解決のために多種多様なデータを分析する技術やそれを適用して得られた結果に基づく思考・判断力を向上させる。								
学習目標	「数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度」のリテラシーレベルの習得を目指し、社会のあらゆる分野で必要とされるデータ・人工知能(AI)の利活用に関する基本的な考え方を理解させる。								
キーワード	数理・データサイエンス・AI教育プログラム(MDASH)、データサイエンス、人工知能(AI)、ビッグデータ、デジタルトランスフォーメーション(DX)、生成AI								
テキスト・ 参考書等	【使用教科書】吉岡剛志(編著)「改訂新版 基礎学習 AIデータサイエンスリテラシー入門」(技術評論社)								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	データの種類やデータ・AIの利活用方法などに関する知識の理解度を評価するための基準								
LO-2	Excelなどを使ってデータを活用・分析するスキルを評価するための基準								
LO-3	社会の動向を表す多様なデータに対し、適切な分析手法を選んで本質を見抜く思考・判断力を評価するための基準								
LO-4	AI初級教育を学ぶことに対する積極性を評価するための基準								
LO-5	レポートでの取り組みにおいて、データを必要とし現実的な課題への対応に必要な社会性を評価するための基準								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)		25	45	15		15			100
LO-1		25							25
LO-2			15	15					30
LO-3			15						15
LO-4						15			15
LO-5			15						15
備考	Google Meetを使って遠隔対応していますので、後日欠席届を提出する必要があるような理由による欠席の場合も利用することを認めます。 まず、tc26から始まるアドレスで右をクリックすれば、Google Classroom登録ができます クラスルーム Google Classroom登録をすると、Google Meetも利用できます。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス(プログラム認定制度の概要説明、数理・データサイエンス・AIを学ぶ意義など) 小テストのイメージ	
	【予習】 Excelは使いませんが、テキストp.38のStep1 ~ p.39のStep1 までを必ず読んでおくこと(フライングして実行してもOKです)。 ・テキストp.2「はじめに」、各章の概要が書かれているページ(p.7, p.37, p.165)を読んでおくこと。 ・シラバスをよく読んでおくこと。	90分
	【復習】数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)モデルカリキュラム-データ思考の涵養-を必ず読むこと。 本日中に小テストを解答してください。 講義中に解答の指示を出します	90分
第2回	社会で起きている変化 前回の内容に関するコメントや質問への回答 【キーワード】5G, Society5.0, 第4次産業革命, モノのインターネット(IoT), ビッグデータ, デジタルトランスフォーメーション(DX), SDGsなど	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.8~p.13を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること(Google Classroomにログイン)。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「社会で起きている変化」を読むこと。	90分
第3回	社会で活用されているデータ 【キーワード】調査データ, ログデータ, 実験データ, 観測データ, 1次データ, 2次データ, メタデータ, オープンデータ 講義中に利用するデータ	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.14~p.17を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「社会で活用されているデータ」を読むこと。	90分
第4回	データ・AI活用のための技術(1): 構造化データの可視化(1) Excelによるグラフ作成の基礎(テキスト2-1-4, 2-1-5節) 講義中に利用するデータ	
	【予習】・テキストp.21~23(地図上の可視化), p.49~54を読んでおくこと。 ・「令和7年度学生のしおり」(p.11~12)を読んでGPA制度を理解しておくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・e-Statなどで自分が関心を持ったデータを探して可視化してみる。	90分
第5回	データ・AI活用のための技術(1): 構造化データの可視化(2) 講義中に利用するデータ	
	【予習】テキストp.55~71を読んで、自分でもExcelを使って取り組むこと。	90分
	【復習】・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・Google Formsの小テストを解答すること。 ・e-Statなどで自分が関心を持った時系列データを探して可視化してみる。	90分
第6回	時系列データの可視化(テキスト2-2節) 講義中に利用するデータ(作業終了後に提出あり) データ・AI活用のための技術(2): 非構造化データの扱い方, AIの仕組み(機械学習・深層学習) 【キーワード】自然言語処理, ニューラルネットワーク, 機械学習, 深層学習, 特化型AI, 汎用AI	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.23~p.26を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AI活用のための技術」を読むこと。	90分
第7回	データ・AIの活用領域と各々の現場(テキスト1-3, 1-5節) 講義中に使うデータ 【キーワード】PDCAサイクル, データサイエンスサイクル(PPDACサイクル)	
	【予習】・テキストp.18~20, p.27~33を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AIの活用領域」, 「データ・AI活用の現場」を読むこと。	90分
第8回	データ・AI活用の最新動向 【キーワード】ビジネスモデル, シェアリングエコノミー, レコメンデーション, EC, 敵対的生成ネットワーク, ディープフェイク, 強化学習, 転移学習, 生成AI Google Geminiを初めて使う人は必読 / 講義中に使うデータ	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.34~p.36を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AI活用の最新動向」を読むこと。	90分
第9回	データを読む・説明する(1): データの種類, 平均値の求め方など, テキスト2-3節「平均の算出とその可視化」 もし時間があれば 【キーワード】定量(量的)データ, 定性(質的)データ, 計量データ, 計数データ, 名義尺度, 順序尺度, 間隔尺度, 比率尺度, 母集団, 標本	
	【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べておくこと。 ・テキストp.72~83(コラム)を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データを読む」を読むこと。 Excelファイル(mean.xlsx)の提出については: 締切は6月X日, 課題提出の1ヶ	90分
第10回	データを読む・説明する(2)(2025.6.17, AM11:25差し替え): 標準偏差の求め方, 箱ひげ図作成, 相関関係など 講義中に使うデータ / 折れ線グラフ用データ	
	【予習】・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データを説明する」を読むこと。	90分
	【復習】・Google Formsによる小テストを解答すること。 ・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムで公開されている九大の教材「データのばらつき」を読むこと。	90分

第11回	<p>データを読む・説明する(3) : データの予測, 標準偏差の可視化(テキスト2-4節) モデルカリキュラムの[選択]における「4-8. 教師あり学習」「4-9. 教師なし学習」も若干含む 講義中に利用するデータ</p> <p>【予習】・テキストp.84～97を読んで、自分でもExcelを使って取り組むこと。 ・第4回の「R4.12～R5.2月の北陸地方における降雪量・最深積雪」のデータを使った散布図作成を復習しておくこと。</p> <p>【復習】・Google Formsによる小テストを解答すること。 ・講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。 ・e-Statなどで自分が関心を持ったデータを探して散布図を作成してみること。</p>	90分
	<p>データを説明する・データを扱う・データを読む 1) テキストデータをExcelに読み込む 2) 集計表の作成・可視化など</p> <p>【予習】講義スライドのpdf資料を読みながら、自分でもExcelを使って取り組むこと。</p> <p>【復習】・Google Formsによる小テストを解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データを扱う」を読むこと。</p>	90分
第12回	<p>第9回～第12回までのまとめ 講義中に利用するデータ 終了後に課題提出の1へ</p> <p>【予習】第9回～第12回までの内容を復習しておくこと。</p> <p>【復習】・Google Formsによる小テストを解答すること。 ・講義スライドのpdf資料を読みながら、講義中に行った作業を再度自分でも確認すること。</p>	90分
	<p>データ・AI活用における留意事項(テキスト第3章) 【キーワード】ELSI, GDPR, 個人情報保護法, プライバシー, オプトイン/オプトアウト, バイアス, 人間中心のAI社会原則, セキュリティ, 暗号化</p> <p>【予習】・【キーワード】に示している全ての用語の意味を調べながら、テキストp.166～p.172を読んでおくこと。 ・講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。</p> <p>【復習】・Google Formsによる小テストを必ず解答すること。 ・数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムの公開教材「データ・AI活用における留意事項」を読むこと。 今回はWebシラバス回答で、問5に自分が調べたバイアスを書き込んでください。</p>	90分
第14回	<p>全体の総括・授業アンケート実施 事前に必ず読み、当日に必ず回答すること！</p> <p>【予習】講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。特に「データリテラシー」の部分は、九大が数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムで公開している教材「データの種類」を読むこと。</p> <p>【復習】・Google Formsの確認テストを解答すること。 ・テキスト第1章および第3章の「用語解説」にあがっている用語を全て見直すこと。</p>	90分
	<p>【予習】講義スライドのpdf資料を読んでおくこと。特に「データリテラシー」の部分は、九大が数理・データサイエンス・AI教育拠点コンソーシアムで公開している教材「データの種類」を読むこと。</p> <p>【復習】・Google Formsの確認テストを解答すること。 ・テキスト第1章および第3章の「用語解説」にあがっている用語を全て見直すこと。</p>	90分

授業科目名	キャンパス&ホームステイプログラム			科目コード	X551-10				
科目区分	教養科目 - 外国語科目 - 英語		担当教員名	山田 尚平					
実務経験									
開講時期	1年通年		授業の方法	演習					
必修・選択	選択		単位数	2単位					
前提科目(知識)	なし。		後継科目	なし。					
関連科目	英語、英語、英語、総合英語、総合英語								
資格等 取得との関連	なし。								
授業の概要	富山国際大学が開講する短期の海外研修プログラムに参加することで、本学の当授業科目の履修と見なす。本学における事前オリエンテーションクラス、現地でのホームステイ・語学研修への参加を通して、異文化に対する理解を深めると共に語学力の向上をはかる。履修登録を行い、事前オリエンテーションクラスに出席することが参加条件である。								
学習目標	英語の基本的な語彙や会話表現を習得する。また、英語圏の歴史・文化・生活習慣に対する理解を深める。								
キーワード	英語の語彙 会話表現 歴史 文化 生活習慣								
テキスト・ 参考書等	授業で適宜指示する。								
学修成果	学生が獲得するべき具体的な成果								
LO-1	【知識・理解】英語圏の歴史・文化・生活習慣に関する基本的な知識がある。								
LO-2	【技能】英語の基本的な語彙や会話表現を理解できる。								
LO-3	【思考力・判断力・表現力】自分の考えを英語で表現できる。								
LO-4	【関心・意欲・態度】英語圏の歴史・文化・生活習慣に関心を持つことができる。								
LO-5	【人間性・社会性】英語でコミュニケーションをはかる意欲と能力がある。								
評価方法 / LO (学修成果)	筆記試験		提出課題		成果発表	その他			合計
	定期試験	小テスト	レポート	作品		A	B	C	
総合評価(割合)			20		10	50	20		100
LO-1			5			10	10		25
LO-2			5			10	10		25
LO-3			10		5	10			25
LO-4						10			10
LO-5					5	10			15
備考	「その他A」は現地における研修への取組み、「その他B」は事前事後指導への取組みとする。								

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、自己紹介	
	【予習】自己紹介で話す内容を考えておく。また、自分が言いたいことを英語でどう表現するか、必要に応じて英和・和英辞典等を使って調べる。	40分
	【復習】他の学生の自己紹介を聞いて学んだ表現をノートに書いて整理する。	20分
第2回	海外旅行で役立つ英語（1） 英語圏の国々の歴史と文化（1）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第3回	海外旅行で役立つ英語（2） 英語圏の国々の歴史と文化（2）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第4回	海外旅行で役立つ英語（3） 英語圏の国々の歴史と文化（3）	
	【予習】研修で訪れる国の歴史と文化について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第5回	ホームステイの英会話（1） 英語圏の国々の生活習慣（1）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第6回	ホームステイの英会話（2） 英語圏の国々の生活習慣（2）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第7回	ホームステイの英会話（3） 英語圏の国々の生活習慣（3）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第8回	ホームステイの英会話（4） 英語圏の国々の生活習慣（4）	
	【予習】研修で訪れる国の生活習慣について調べる。	40分
	【復習】授業で学んだ英語の表現をノートに書いて整理する。また、音読の練習をする。	20分
第9回	海外渡航時の危機管理（1）：健康管理	
	【予習】最近受けた健康診断の結果を再確認する。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。	40分
第10回	海外渡航時の危機管理（2）：学生の基本リスク対策	
	【予習】日本人の海外旅行者、留学生が遭遇したトラブルについて調べておく。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。また、自分ならどうするか考えてみる。	40分

第11回	海外渡航時の危機管理（3）：深刻なトラブルに会った時の対応	
	【予習】日本人の海外旅行者、留学生が遭遇したトラブルについて調べておく。	20分
	【復習】授業で学んだことをノートに書いて整理する。また、自分ならどうするか考えてみる。	40分
第12回	現地での交流会の出し物の練習（1）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第13回	現地での交流会の出し物の練習（2）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第14回	現地での交流会の出し物の練習（3）	
	【予習】なし。	0分
	【復習】必要に応じて出し物の準備をする。	30分
第15回	事後報告会、期末レポート作成	
	【予習】報告会の準備をする。また、期末レポートを作成する。	160分
	【復習】報告会のフィードバックを行う。また、必要に応じて期末レポートを修正する。	40分